

2026年3月期 決算説明会

2026年5月18日

株式会社 小森コーポレーション

Contents

1. 2026年3月期業績および次期計画
最高財務責任者（CFO）橋本 巖
2. 2026年3月期 経営概況
代表取締役社長（CEO）持田 訓

2026年3月期業績および次期計画

2026年5月18日

株式会社 小森コーポレーション

Contents

P.5~12	連結業績のまとめ
P.13	決算概要P/L
P.14	売上高・損益の推移
P.15~18	地域別・品目別 受注高
P.19~22	地域別・品目別 売上高
P.23	受注残高の推移
P.24	製品在庫の推移
P.26~30	業績見通し
P.31	設備投資・減価償却費・開発費
P.33~42	地域別 受注高・売上高 詳細

◆ 2026年3月期業績

(単位：億円)

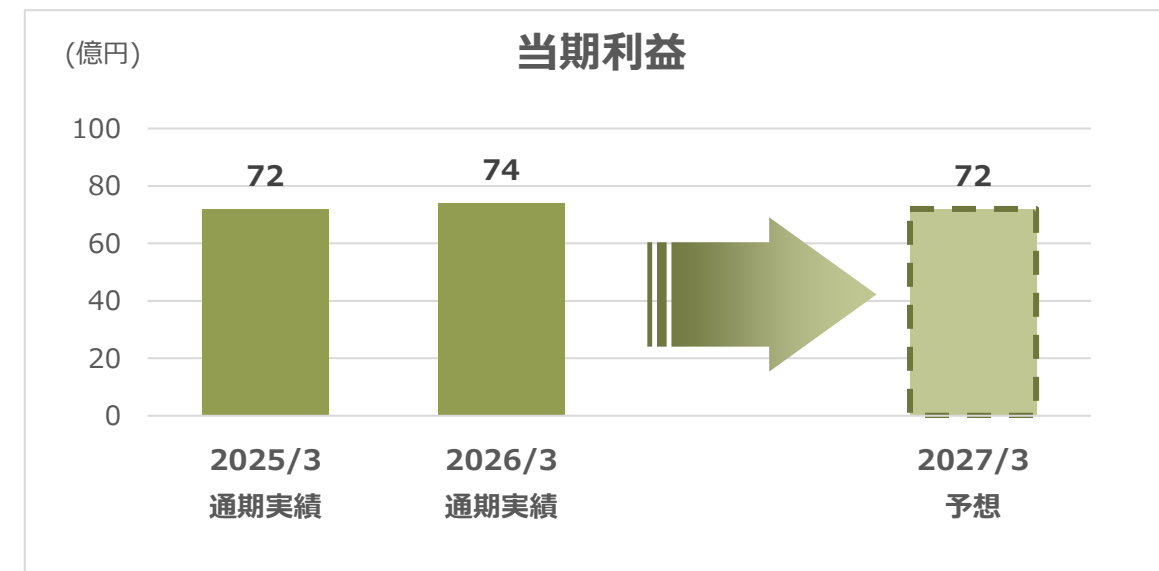
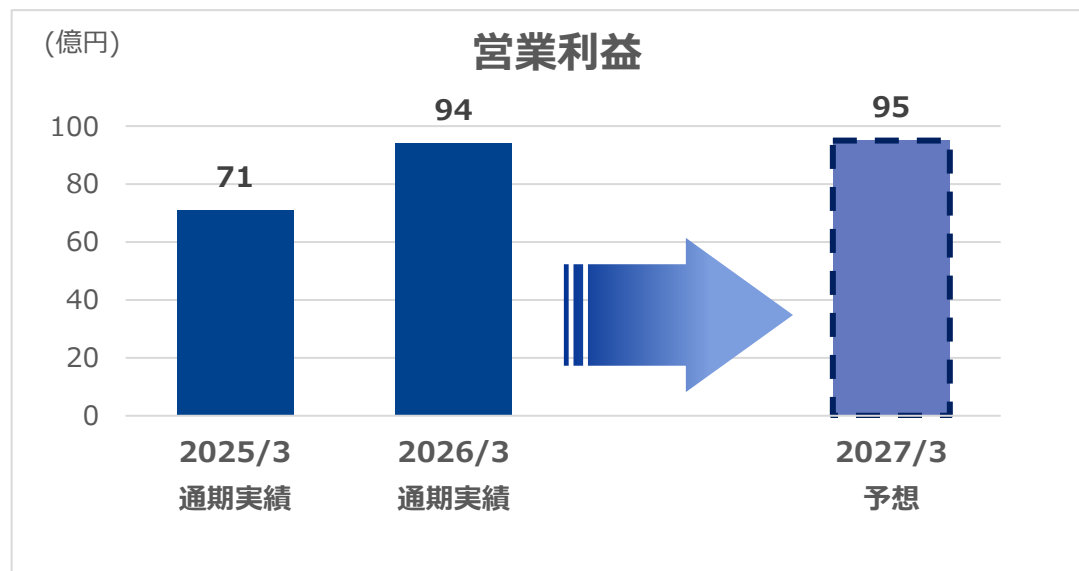
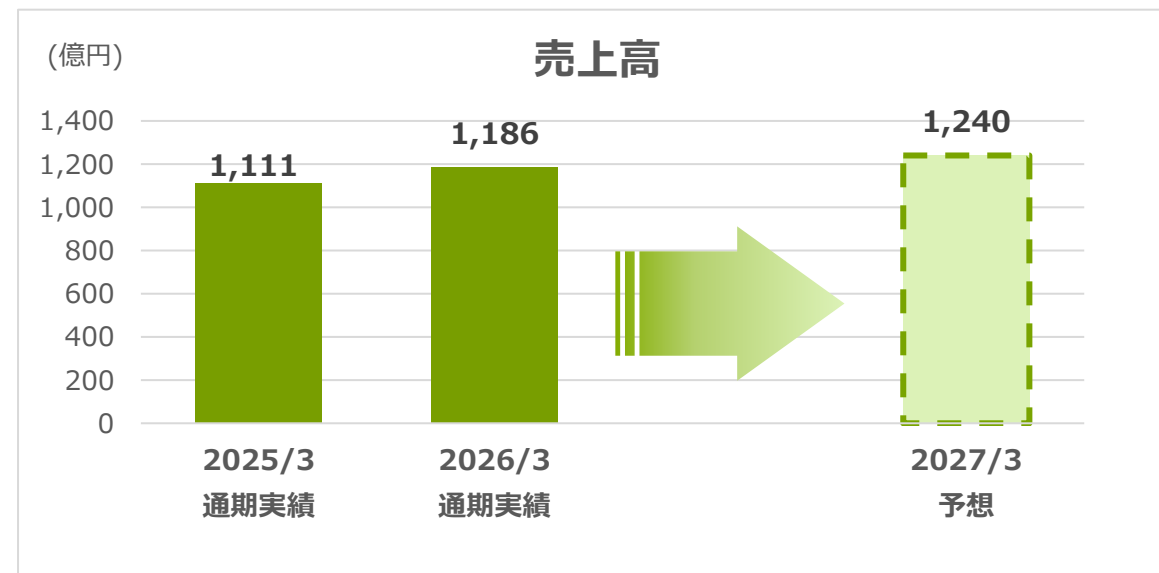
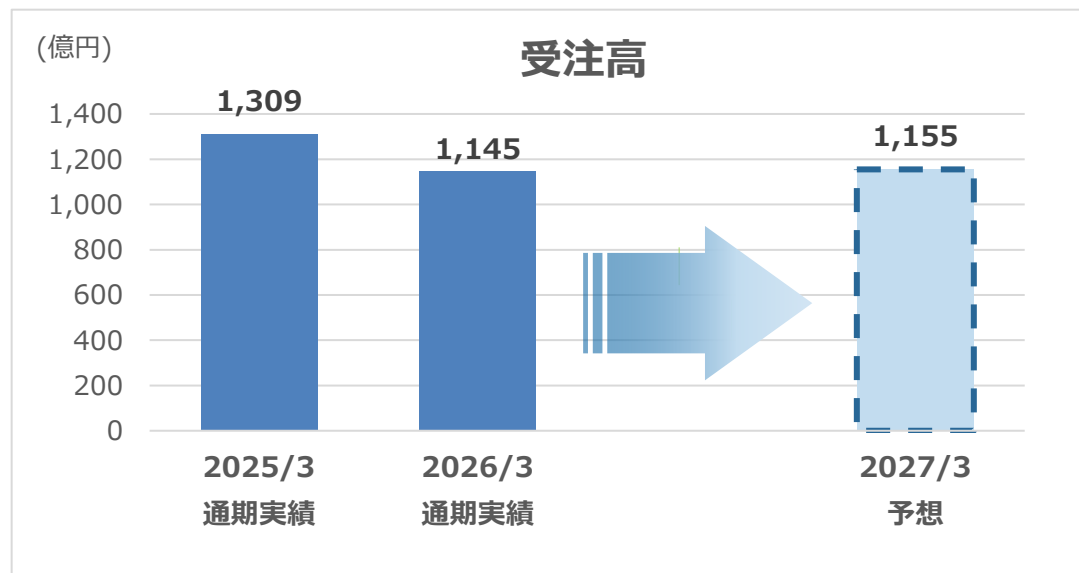
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
2025年3月期実績	1,309	1,111	71	76	72
2026年3月期実績	1,145	1,186	94	107	74
2027年3月期予想	1,155	1,240	95	92	72

為替1ドル = 145円想定。
証券印刷で計画外に複数の入札案件
があり固めに見た数値計画としています。

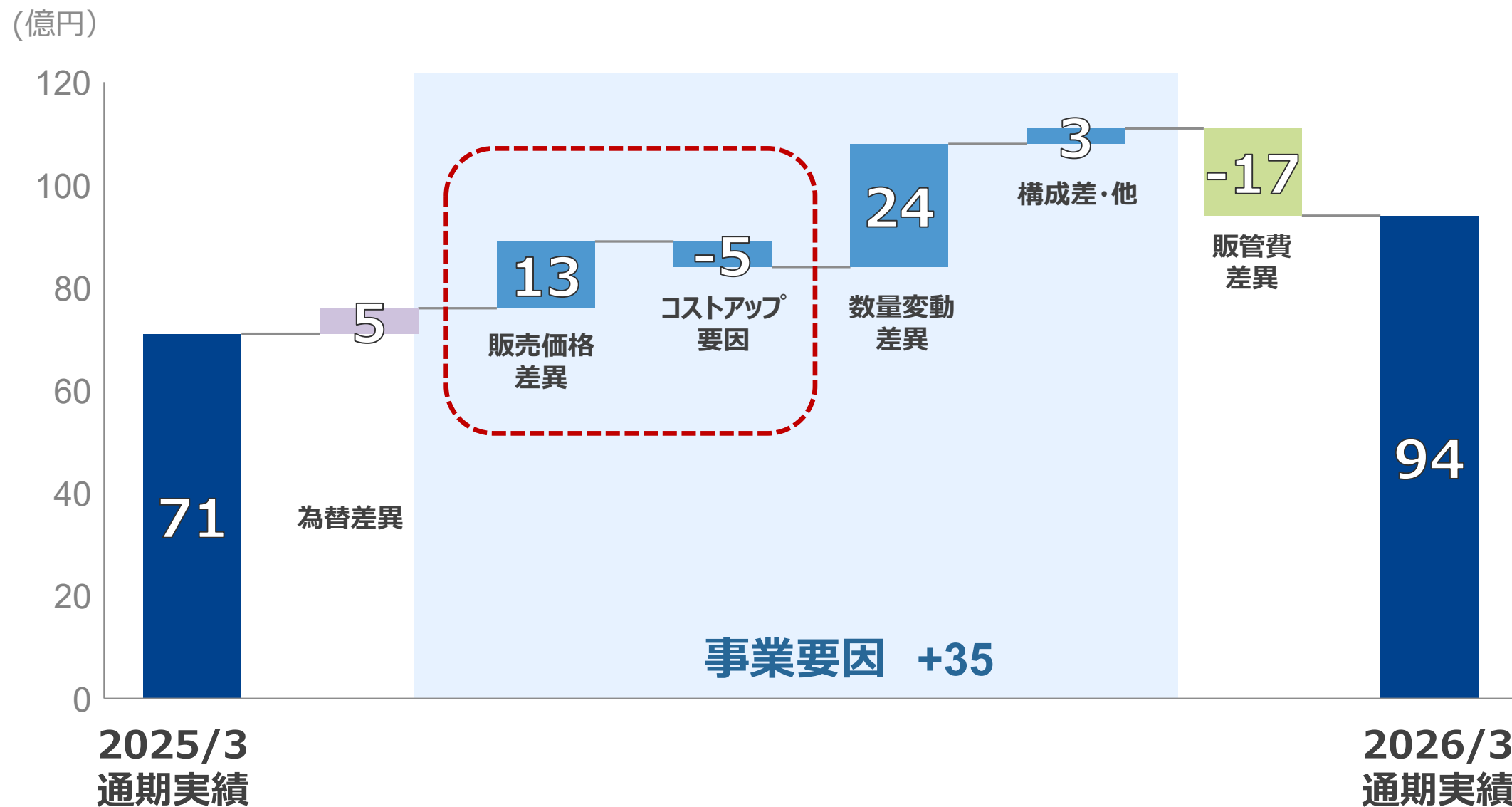
* 受注高 2023.3期 974億円、2024.3期 991億円 (2025.3期 1,309億円は国際大型展示会前後の特需)

◆ 中期経営計画KPIとその進捗

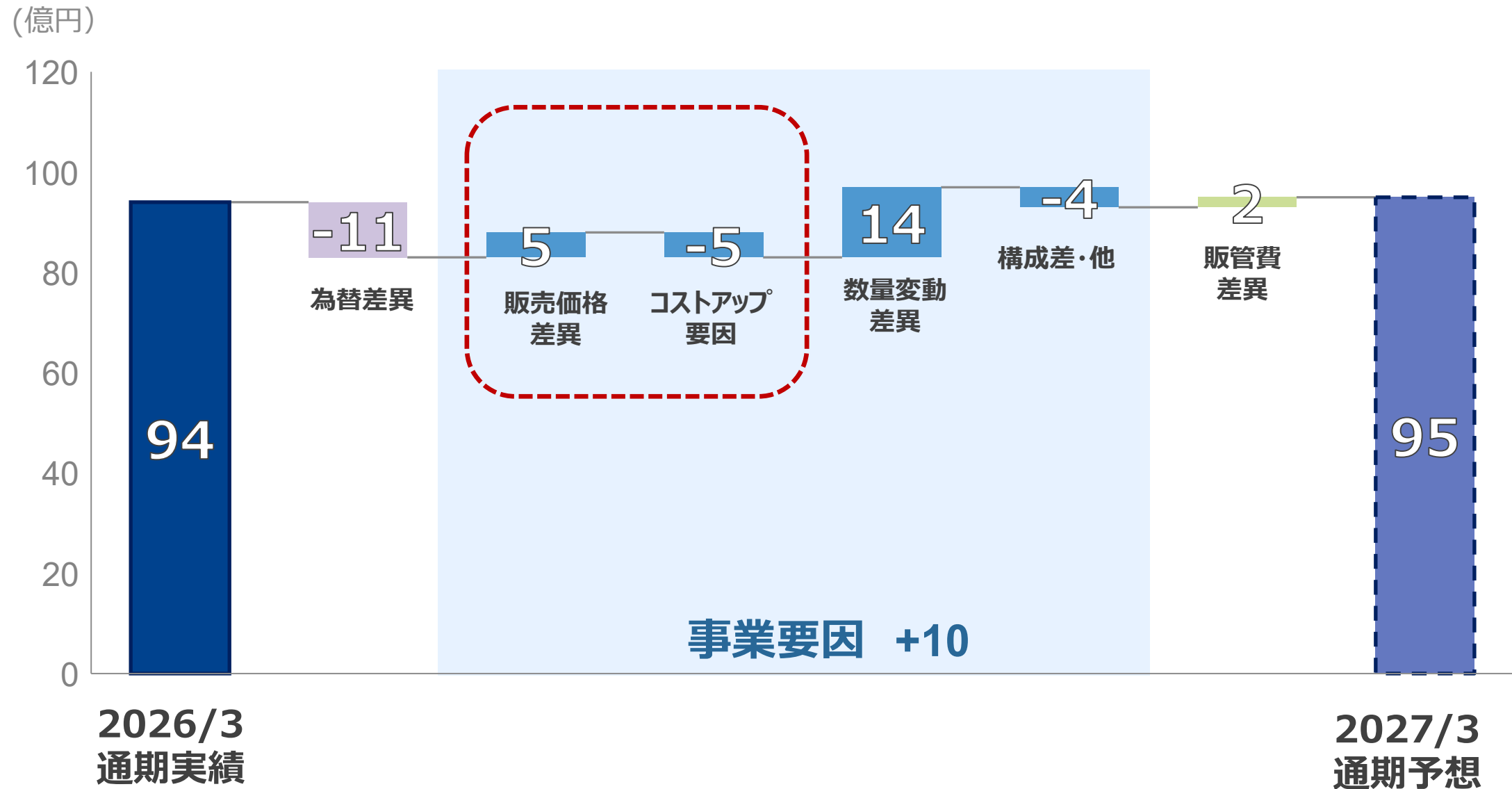
	営業利益率	ROE
中期経営計画KPI	7%以上	6%以上
2026年3月期実績	7.9%	6.2%



営業利益（2026年3月期の変動要因-対2025年3月期比）



営業利益（2027年3月期予想の変動要因-対2026年3月期比）



(億円)

資産の部				負債の部			
	前期末 2025.3.31	当期末 2026.3.31	差額		前期末 2025.3.31	当期末 2026.3.31	差額
短期金融資産	595	544	△50	仕入債務	148	95	△53
売上債権	184	193	+9	短期借入金	2	1	△1
棚卸資産	425	446	+21	社債	100	90	△10
うち製品	212	186	△26	長期借入金	1	1	△1
有形固定資産	208	234	+26	その他負債	323	366	+43
無形固定資産	25	24	△0	負債合計	574	553	△22
その他資産	293	339	+46	純資産の部			
				純資産	1,155	1,229	+74
資産合計	1,729	1,782	+52	負債・純資産合計	1,729	1,782	+52

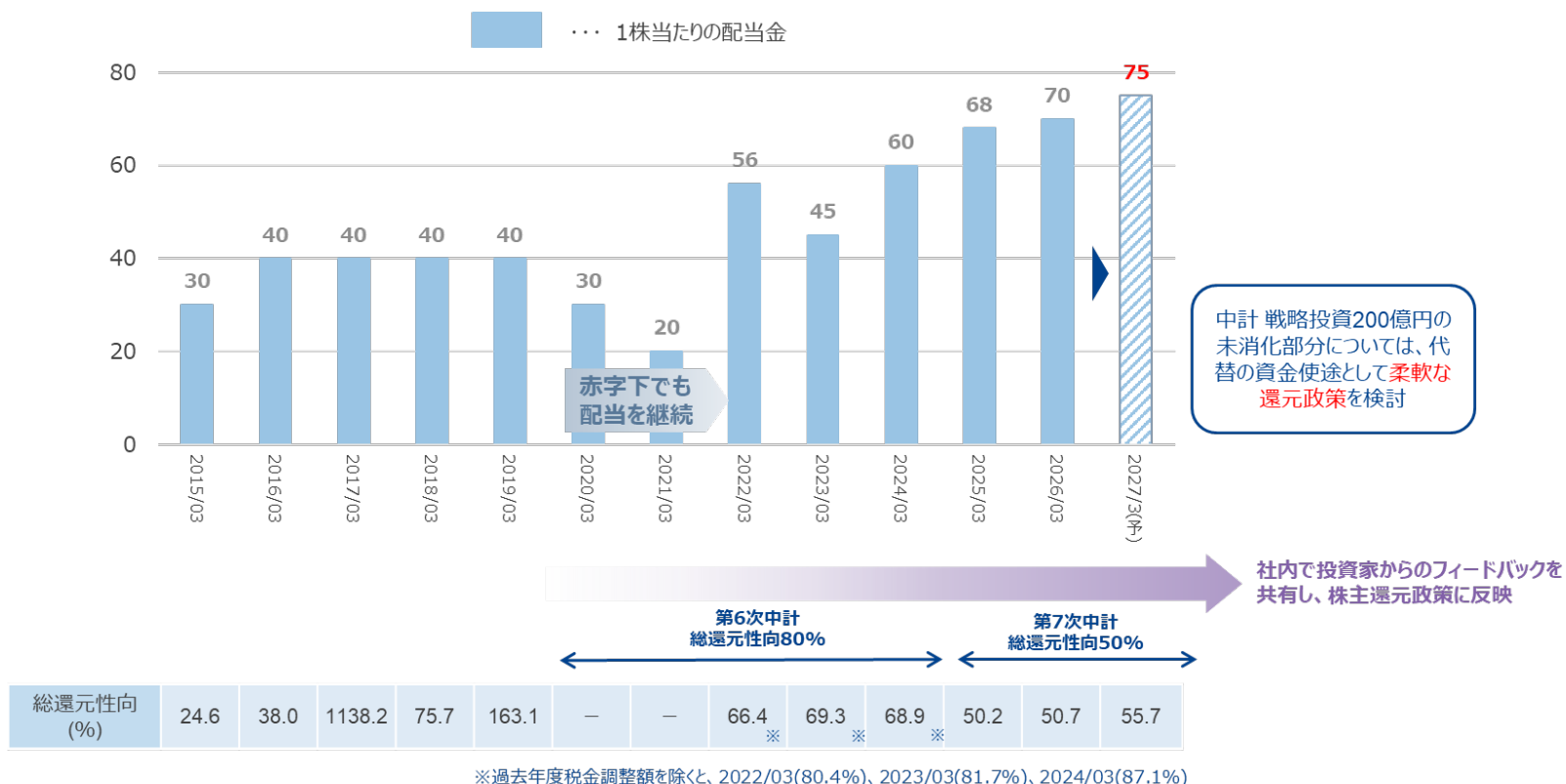
(億円)

	2025/3 通期実績	2026/3 通期実績	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	170	35	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△29	+19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43	△61	△18
現金及び現金同等物の期末残高	574	529	△45

2027年3月期の予想配当額

■ 第7次中計の還元政策

最低配当額40円を導入すると同時に総還元性向を50%とし、戦略投資と還元の間でバランスの良い財務政策を進めている。2027年3月期は総還元性向50%を維持しつつ投資機会を探る他、万が一投資枠が未消化となった場合には、その**一定割合を株主還元**に充てる事を検討。



※過去年度税金調整額を除くと、2022/03(80.4%)、2023/03(81.7%)、2024/03(87.1%)

中期経営計画 - 資金収支計画の進捗状況

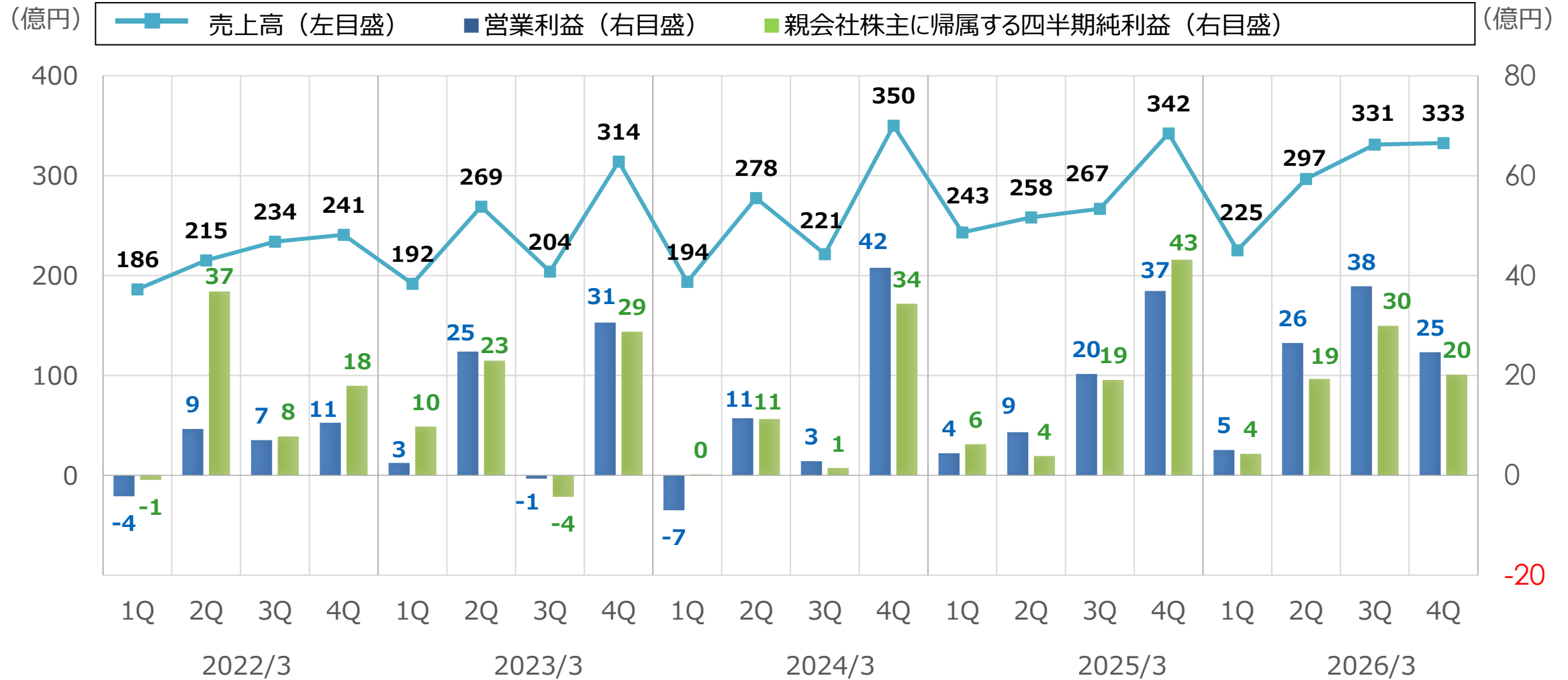
■ 第7次中期経営計画期間の資金収支計画（左）と最終年度（2027年3月期計画）までの進捗（右）

中期経営計画		2期実績と今期想定	
資金支出計画	資金収入計画	資金支出経過	資金収入経過
当期利益 160	株主還元 80	当期利益 218	株主還元 114
	維持更新投資 50		維持更新投資 117
現預金取り崩し 70	新規戦略投資 150	現預金・運転資本異動 23	新規戦略投資 30
償却費 50		償却費 70	未消化 50

当期利益・償却費・配当・従来設備投資は想定額を上回りつつも概ね計画通り。M&Aを含め戦略投資先の選定は継続するも、万が一未消化に終わった場合は一定割合の株主還元を検討。

(単位：億円)

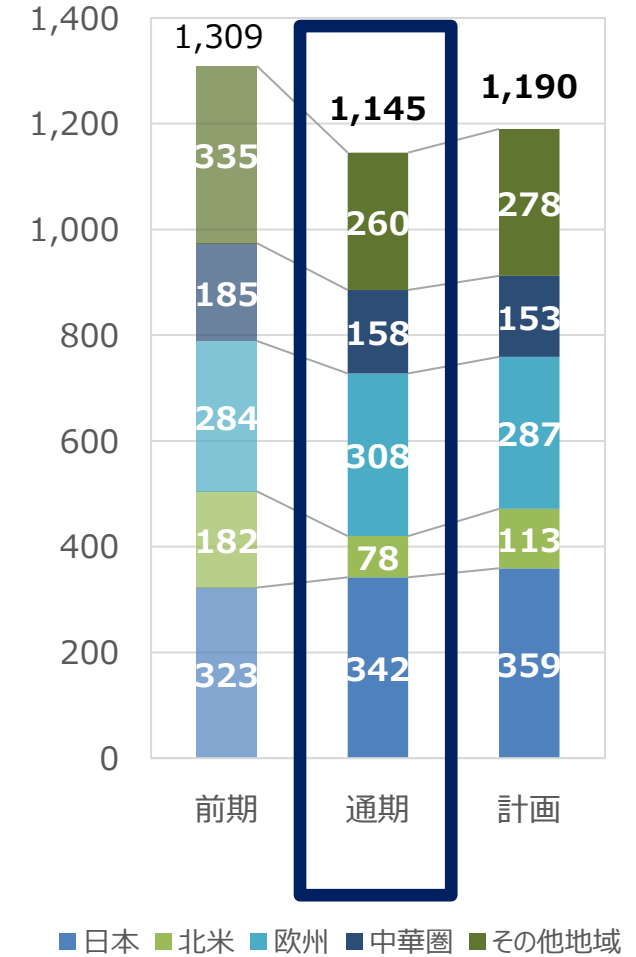
		当期実績 2026/3	前期実績 2025/3	差額	前期比	通期計画 2026/3	差額	計画比
受注高		1,145	1,309	△ 164	87%	1,190	△ 45	96%
売上高		1,186	1,111	76	107%	1,245	△ 59	95%
営業利益		94	71	23	132%	91	3	103%
経常利益		107	76	31	140%	89	18	120%
親会社株主に帰属する 当期純利益		74	72	2	102%	64	10	116%
平均レート (円)	US\$	150.97	152.48	/		143.54	/	
	EUR	174.54	163.62			159.55		
期末レート (円)	US\$	159.88	149.52			140.00		
	EUR	183.41	162.08			150.00		



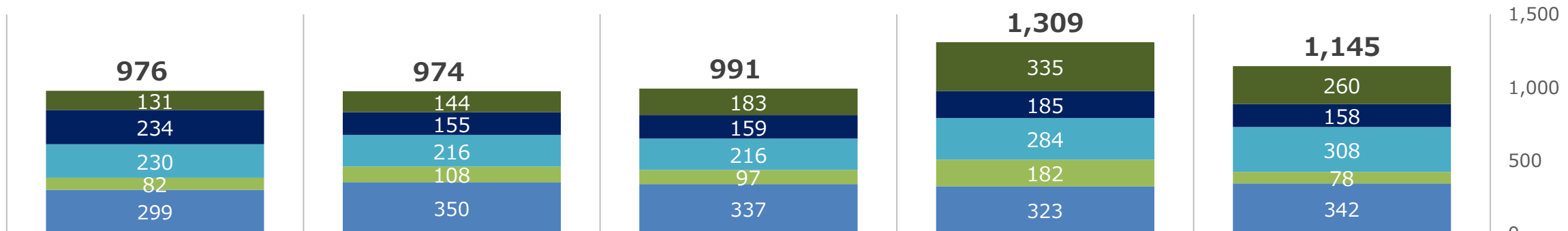
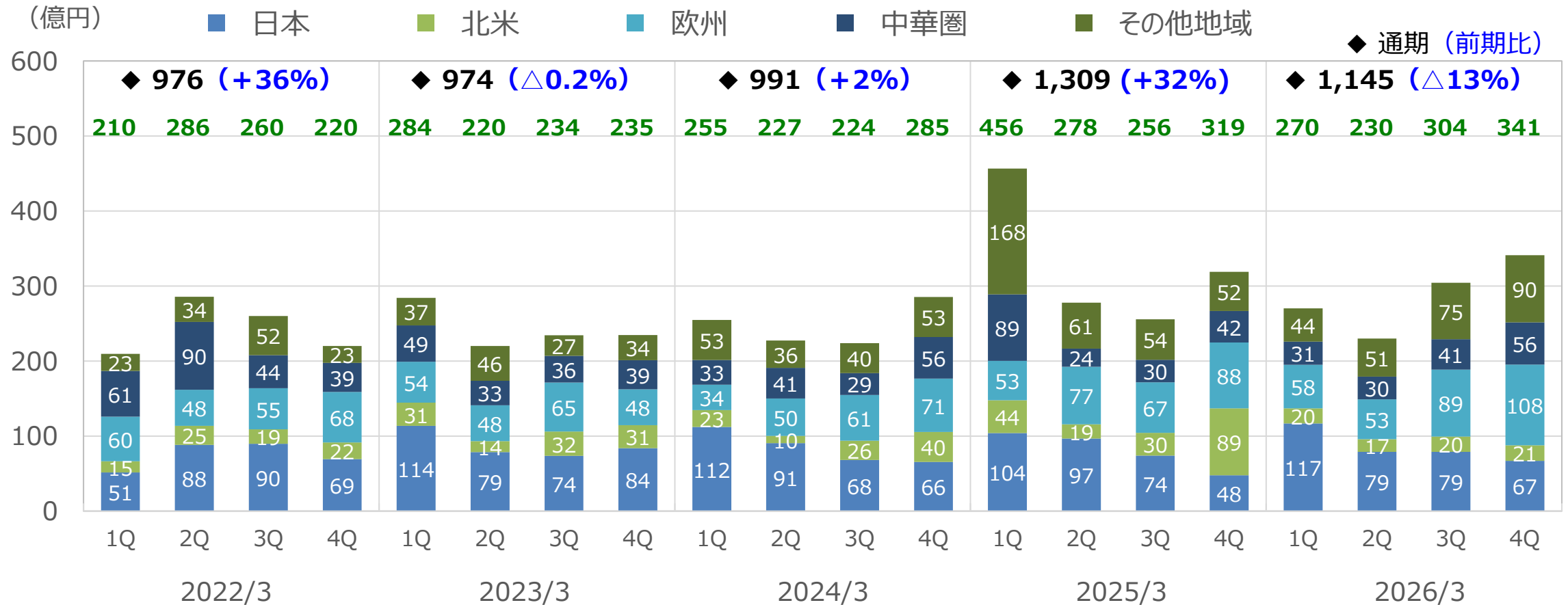
(単位：億円)

	当期実績 2026/3	前期実績 2025/3	前期比	通期計画 2026/3	計画比
日本	342	323	106%	359	95%
北米	78	182	43%	113	69%
	(百万ドル)	(119)	(43%)	(79)	(66%)
欧州	308	284	108%	287	107%
	(百万ユーロ)	(174)	(101%)	(180)	(98%)
中華圏	158	185	85%	153	103%
その他地域	260	335	78%	278	93%
合計	1,145	1,309	87%	1,190	96%

地域別受注高



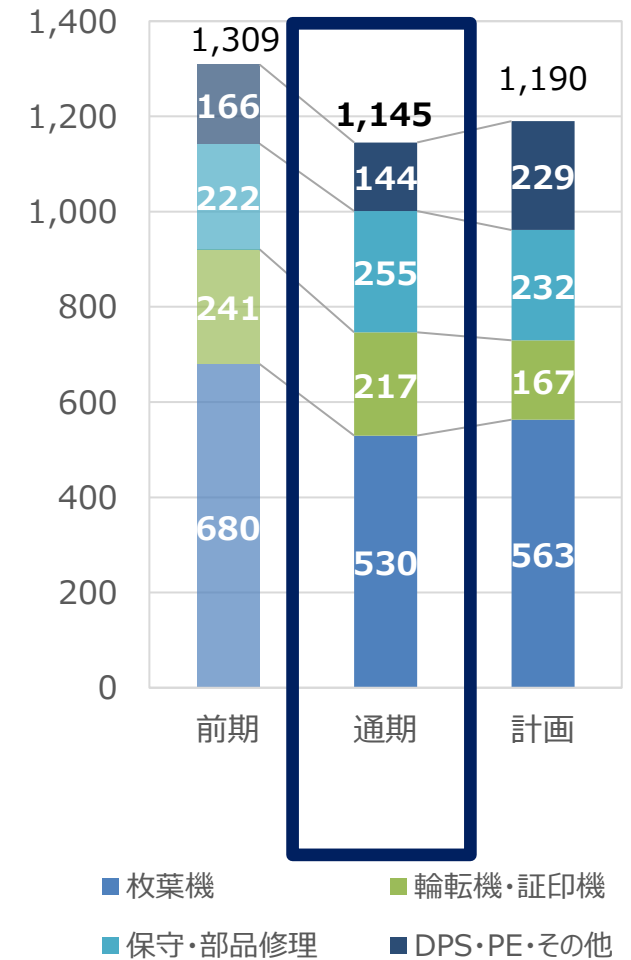
地域別受注高



(単位：億円)

	当期実績 2026/3	前期実績 2025/3	前期比	通期計画 2026/3	計画比
枚 葉 機	530	680	78%	563	94%
輪転機・証券印刷機	217	241	90%	167	130%
保守・部品修理	255	222	115%	232	110%
D P S・P E・その他	144	166	87%	229	63%
合 計	1,145	1,309	87%	1,190	96%

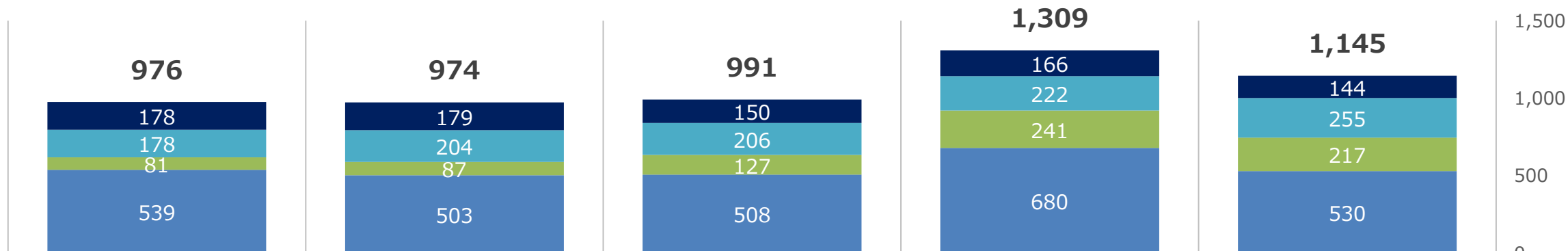
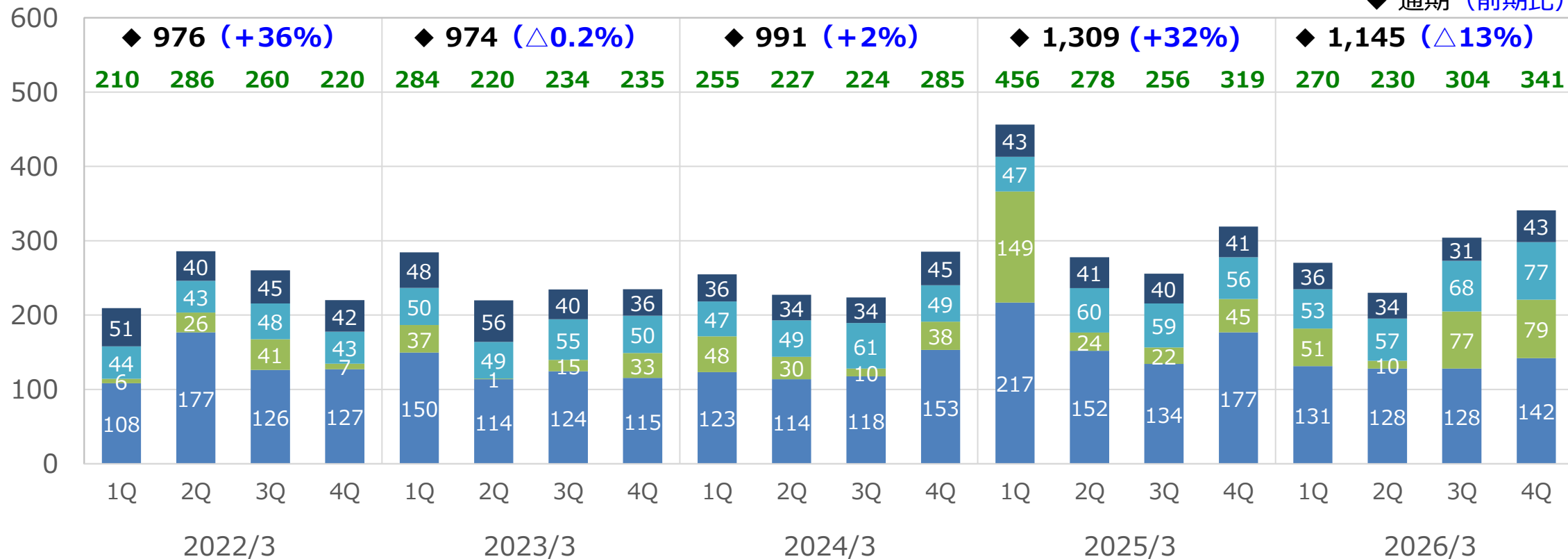
品目別受注高



品目別受注高

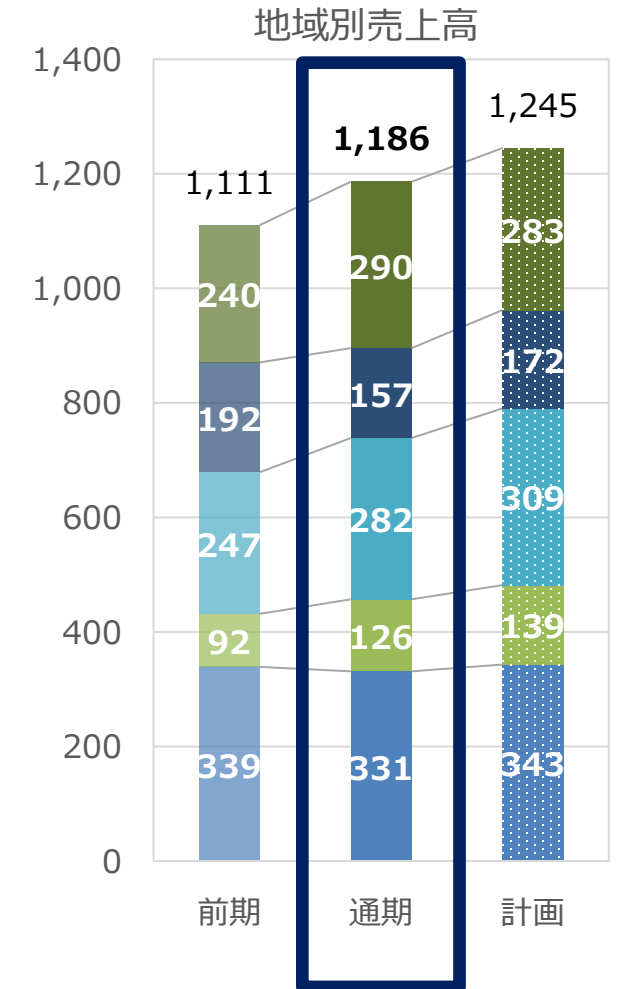
(億円) ■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 保守・部品修理 ■ D P S・P E・その他

◆ 通期 (前期比)



(単位：億円)

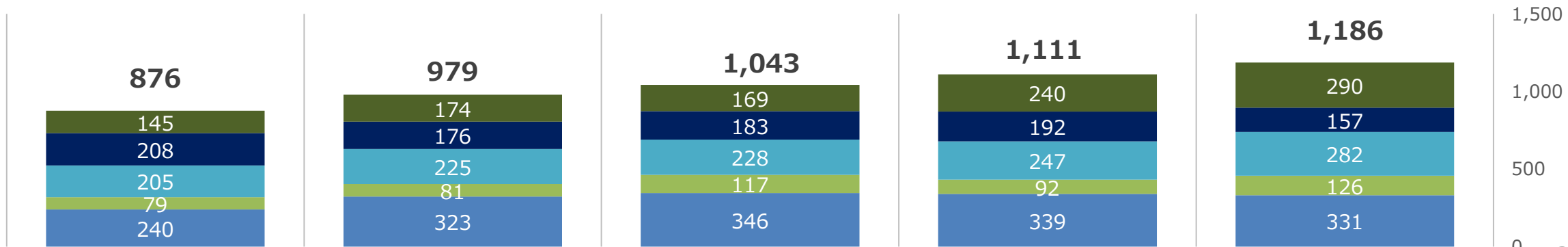
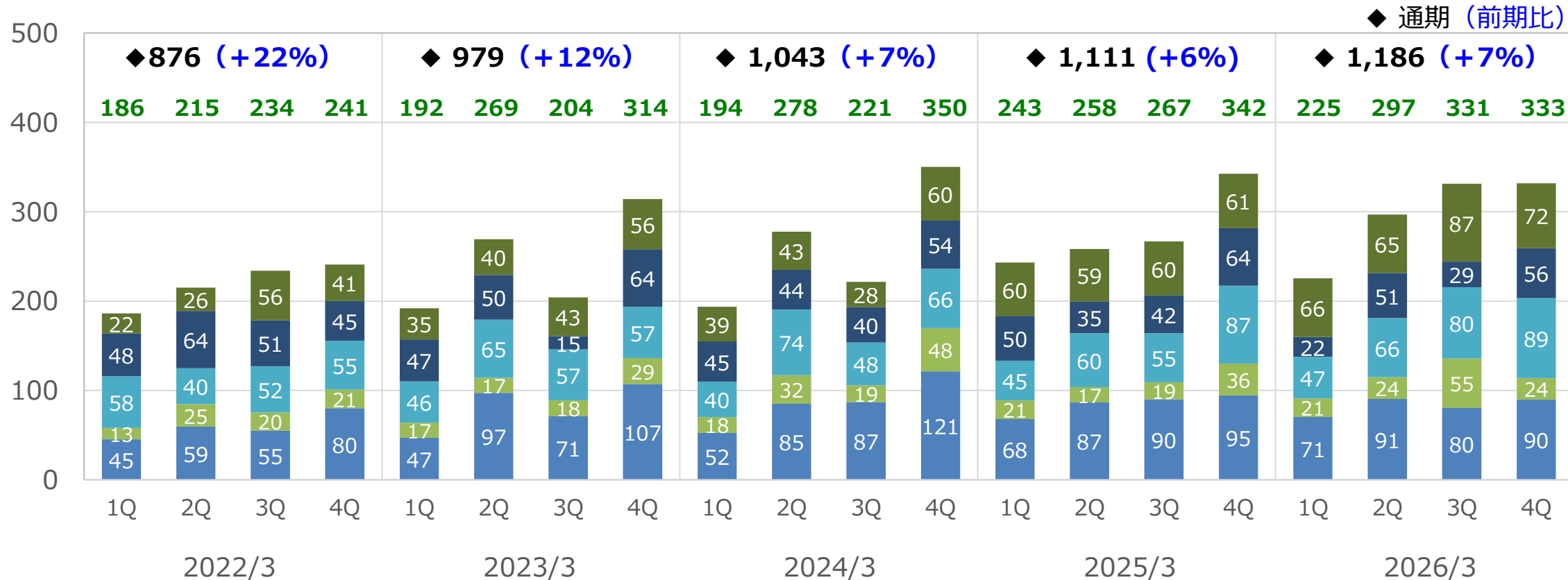
	当期実績 2026/3	前期実績 2025/3	前期比	通期計画 2026/3	計画比
日本	331	339	98%	343	97%
北米	126	92	136%	139	91%
	(百万ドル)	(61)	(137%)	(97)	(86%)
欧州	282	247	114%	309	91%
	(百万円)	(151)	(107%)	(193)	(83%)
中華圏	157	192	82%	172	92%
その他地域	290	240	121%	283	103%
合計	1,186	1,111	107%	1,245	95%



■日本 ■北米 ■欧州 ■中華圏 ■その他地域

地域別売上高

(億円) ■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

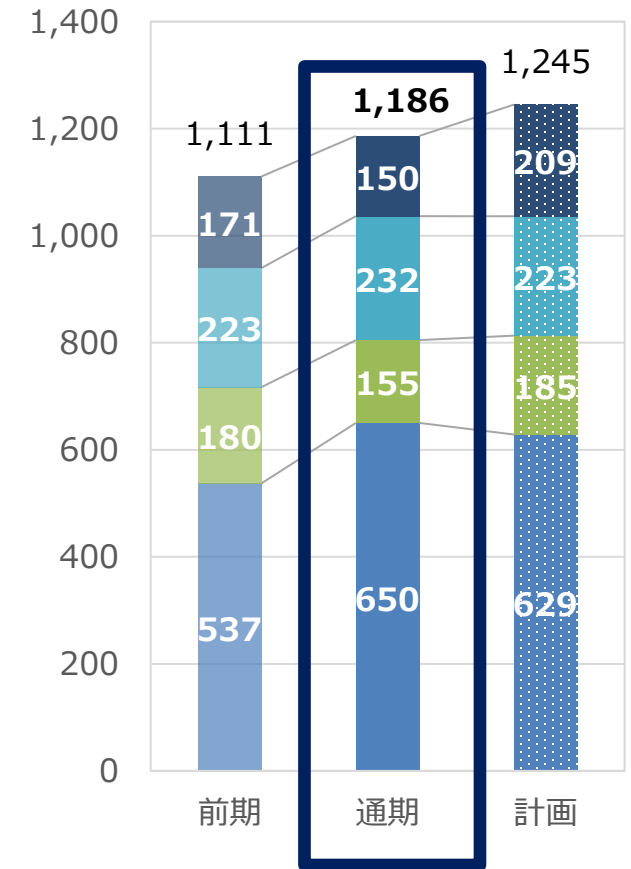


1,500
1,000
500
0

(単位：億円)

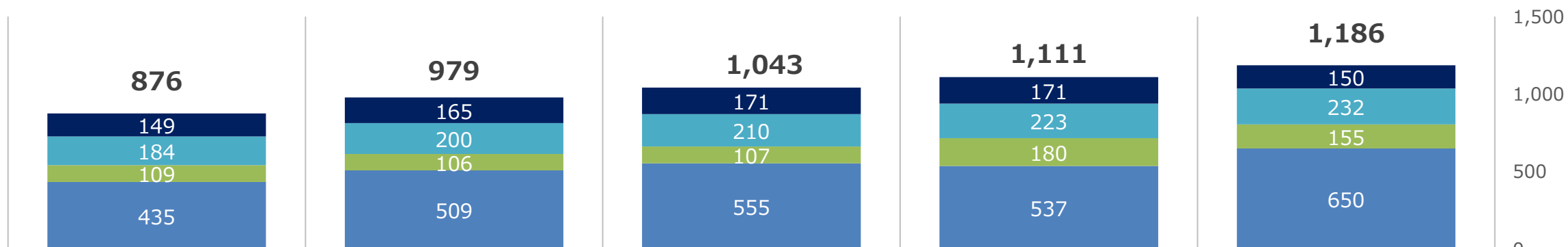
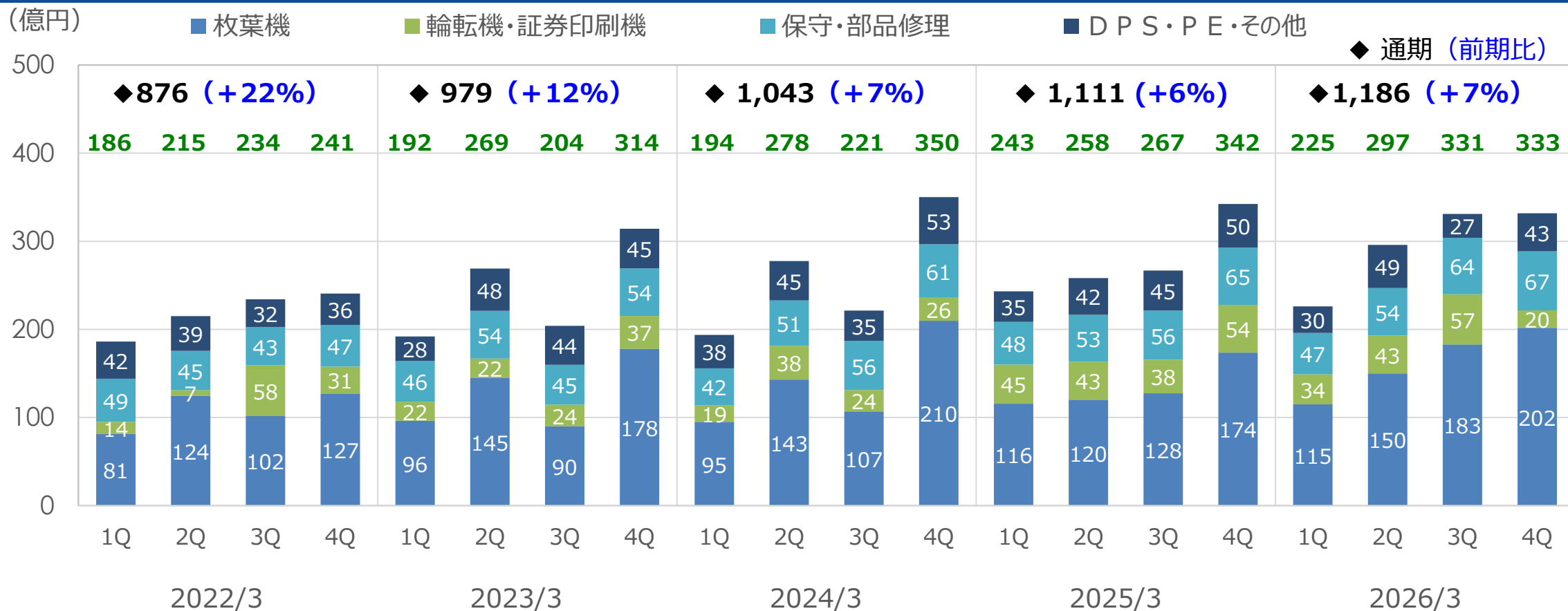
	当期実績 2026/3	前期実績 2025/3	前期比	通期計画 2026/3	計画比
枚葉機	650	537	121%	629	103%
輪転機・証券印刷機	155	180	86%	185	84%
保守・部品修理	232	223	104%	223	104%
DPS・PE・その他	150	171	87%	209	72%
合計	1,186	1,111	107%	1,245	95%

品目別売上高

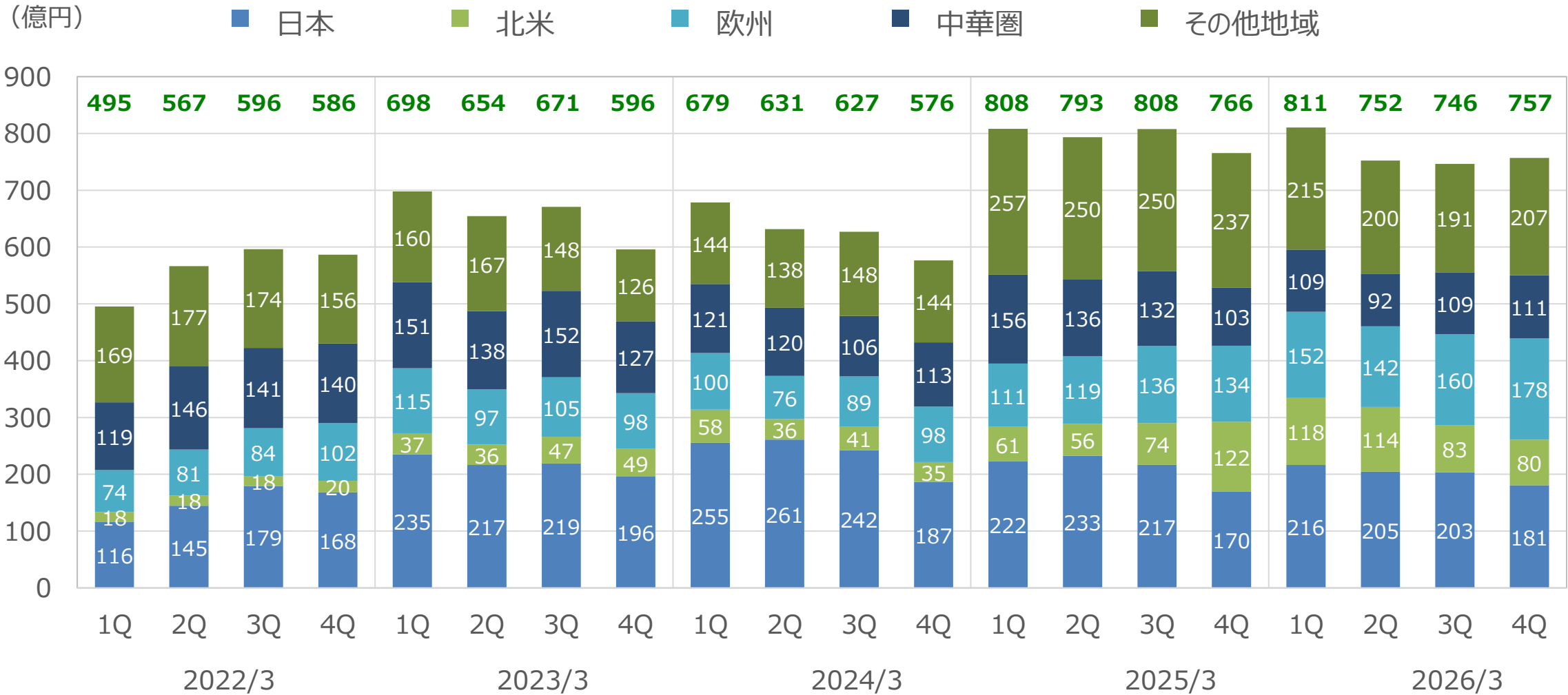


- 枚葉機
- 輪転機・証券印刷機
- 保守・部品修理
- DPS・PE・その他

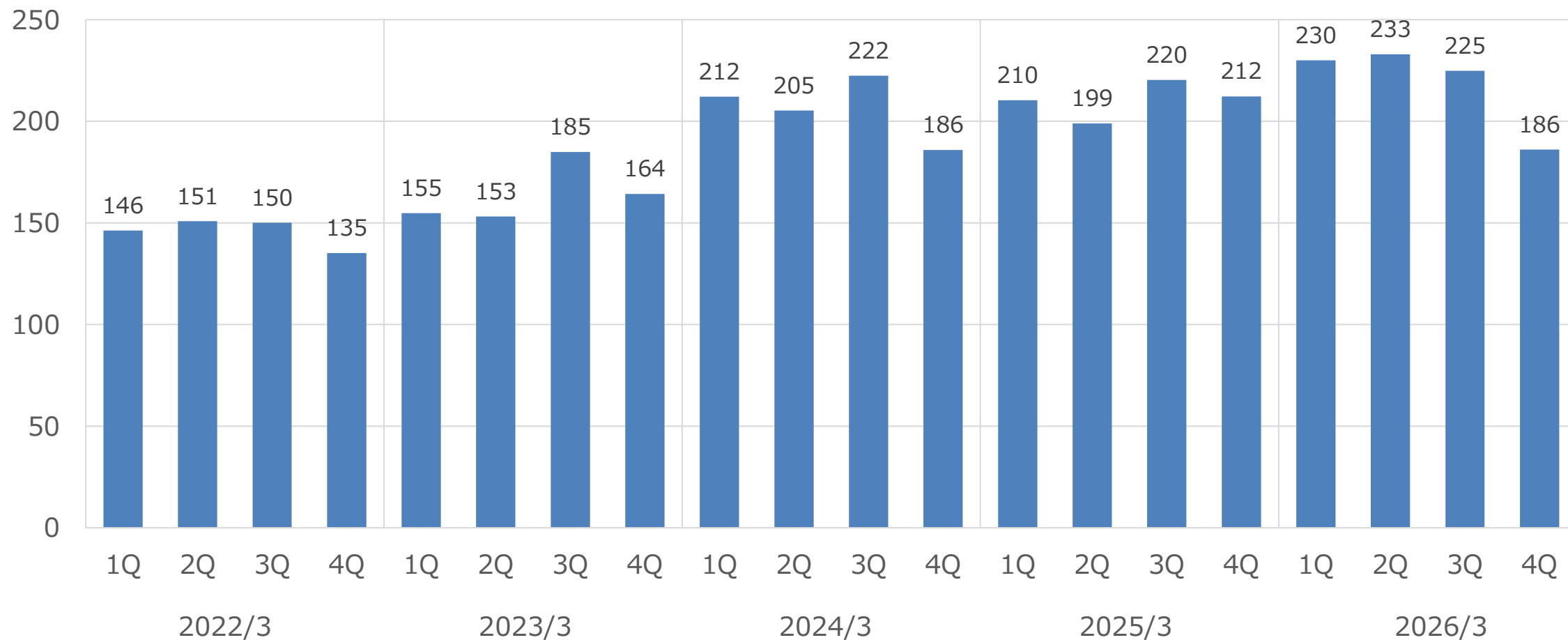
品目別売上高



受注残高の推移



(億円)



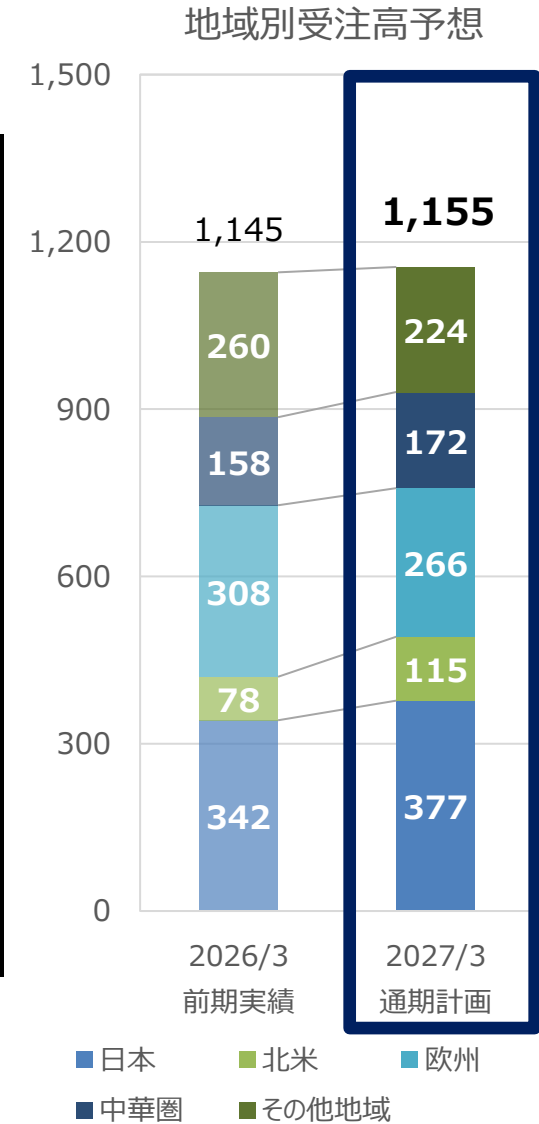
通期業績見通し

(単位：億円)

		2027/3			2026/3 前期実績	差額	前期比
		上期計画	下期計画	通期計画			
受注高		568	578	1,155	1,145	10	101%
売上高		537	703	1,240	1,186	54	105%
営業利益		27	68	95	94	1	101%
経常利益		26	66	92	107	△15	86%
親会社株主に帰属する 当期純利益		18	54	72	74	△2	97%
平均レート (円)	US\$	145.00	145.00	145.00	150.97	/	/
	EUR	165.00	165.00	165.00	174.54		
期末レート (円)	US\$	145.00	145.00	145.00	159.88		
	EUR	165.00	165.00	165.00	183.41		

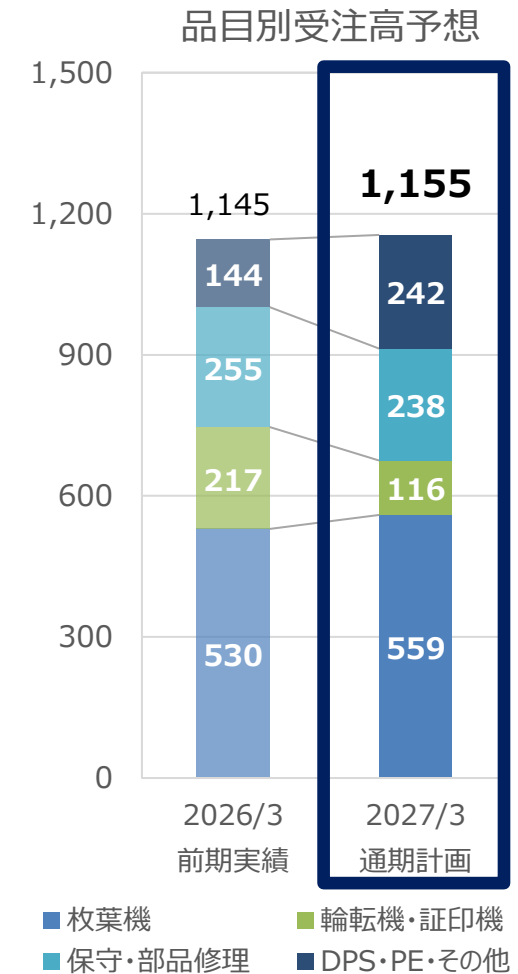
(単位：億円)

	2027/3			2026/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日本	189	188	377	342	35	110%
北米	55	59	115	78	37	147%
	(百万ドル)	(38)	(41)	(79)	(52)	(153%)
欧州	135	131	266	308	△41	87%
	(百万円)	(82)	(80)	(161)	(△15)	(92%)
中華圏	83	89	172	158	15	109%
その他地域	105	119	224	260	△36	86%
合計	568	587	1,155	1,145	10	101%



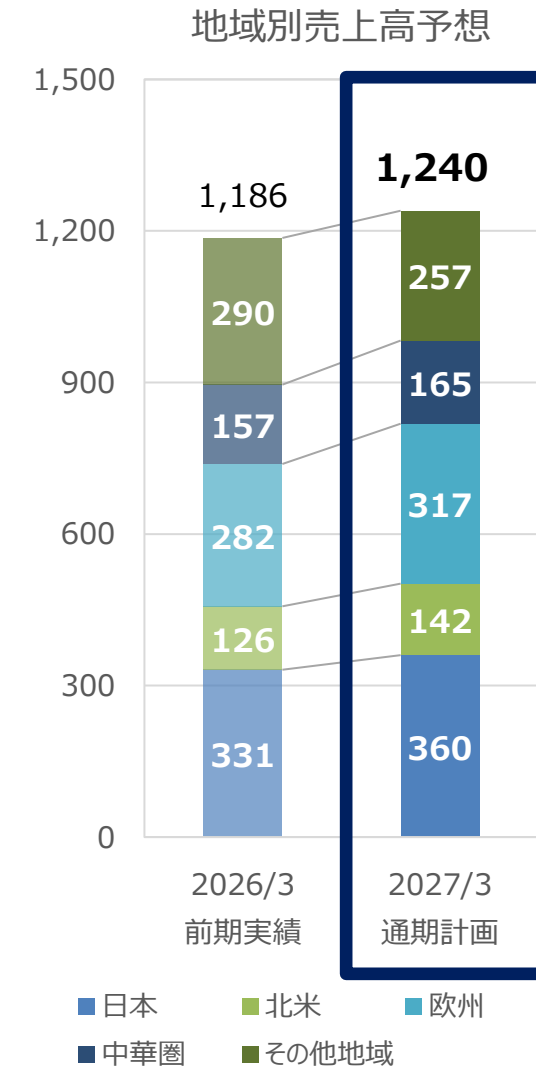
(単位：億円)

	2027/3			2026/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚葉機	294	265	559	530	30	106%
輪転機・証券印刷機	39	77	116	217	△101	53%
保守・部品修理	114	124	238	255	△17	93%
DPS・PE・その他	121	121	242	144	98	168%
合計	568	587	1,155	1,145	10	101%



(単位：億円)

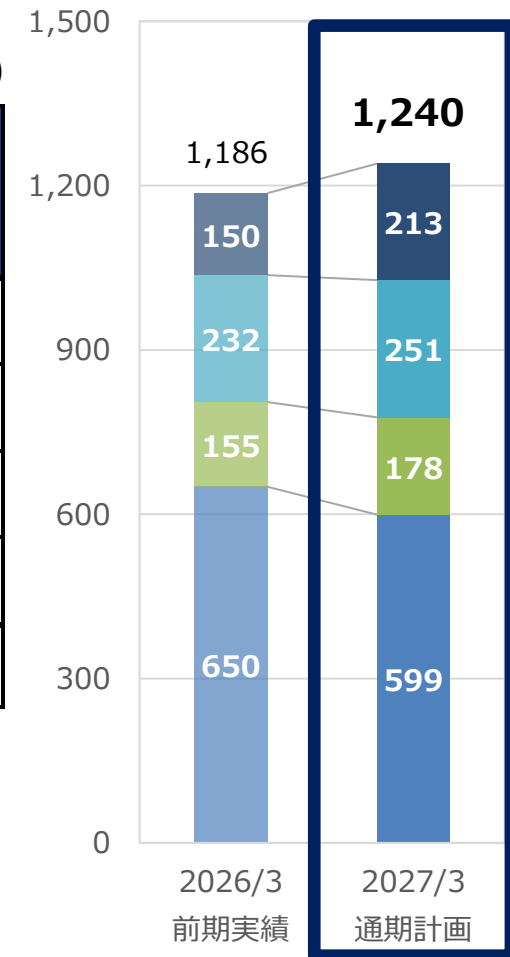
	2027/3			2026/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日本	168	192	360	331	29	109%
北米	58	83	142	126	16	113%
	(百万ドル)	(40)	(58)	(98)	(14)	(117%)
欧州	125	191	317	282	35	112%
	(百万ユーロ)	(76)	(116)	(161)	(30)	(119%)
中華圏	82	83	165	157	8	105%
その他地域	104	153	257	290	△33	88%
合計	537	703	1,240	1,186	54	105%



(単位：億円)

	2027/3			2026/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	265	334	599	650	△51	92%
輪転機・証券印刷機	50	128	178	155	23	115%
保守・部品修理	125	125	251	232	19	108%
D P S・P E・その他	97	116	213	150	63	142%
合 計	537	703	1,240	1,186	54	105%

品目別売上高予想

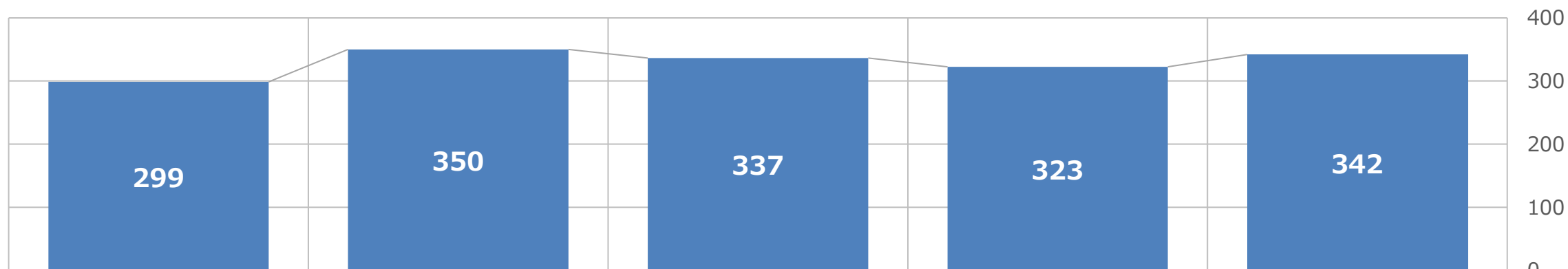
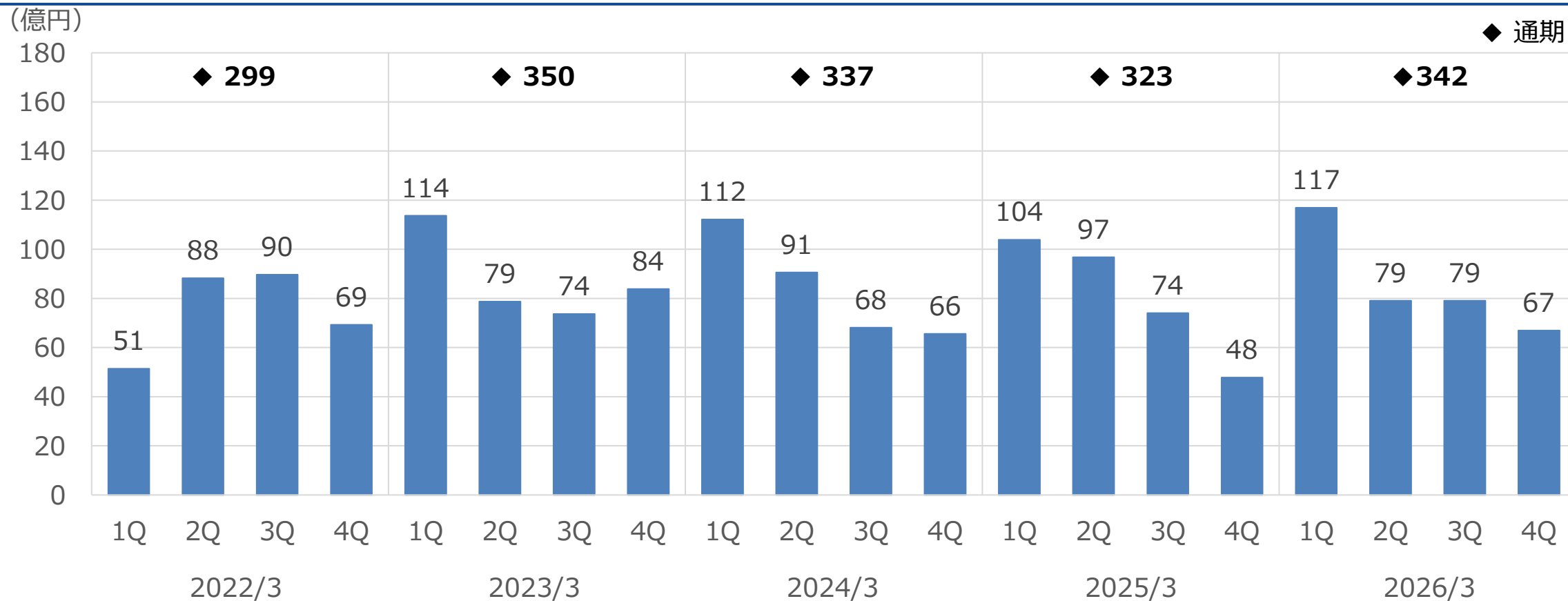


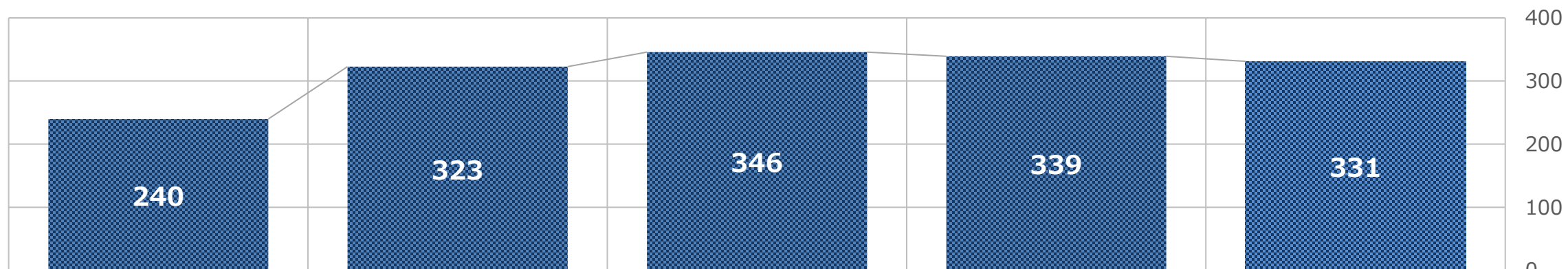
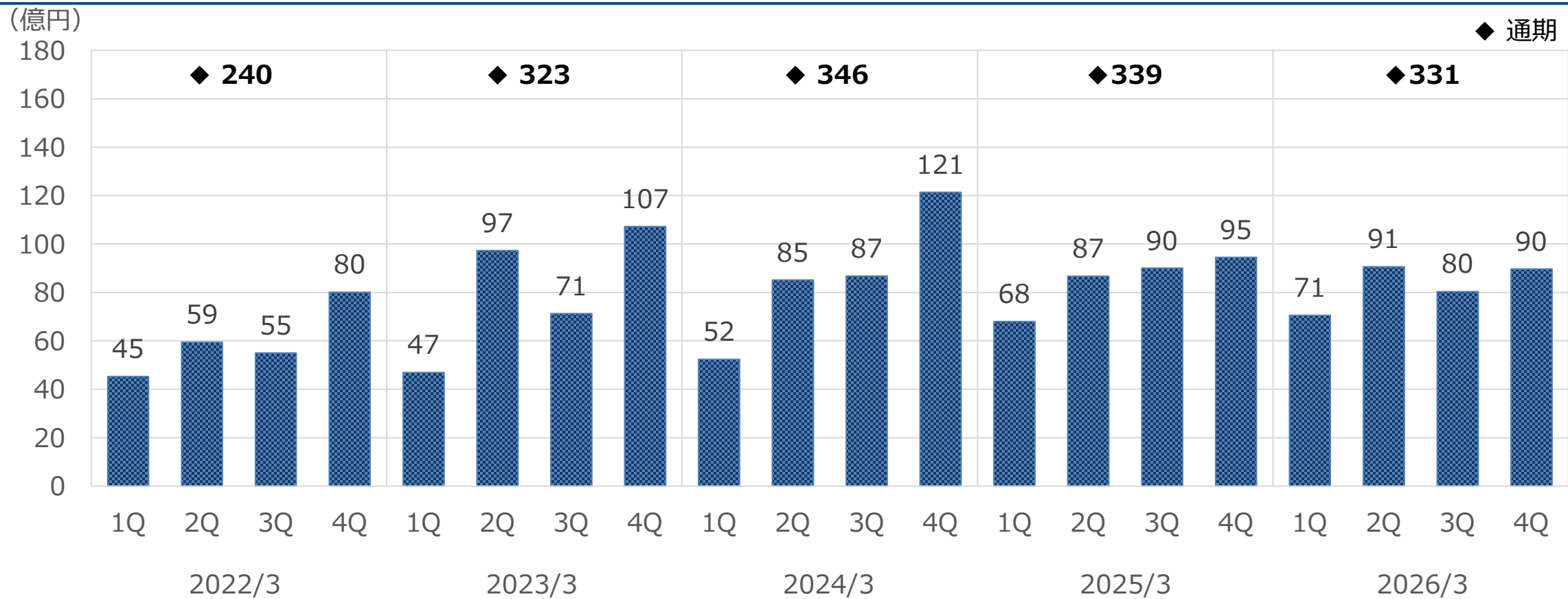
- 枚葉機
- 輪転機・証印機
- 保守・部品修理
- DPS・PE・その他

(単位：百万円)

	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 予想
従業員数（名）	2,613	2,567	2,562	2,625	2,622	2,660
人件費	22,122	23,246	24,656	26,246	27,365	27,800
設備投資額	2,371	2,303	1,997	2,601	4,900	4,200
減価償却費	1,877	1,896	1,968	2,298	2,278	2,400
研究開発費	4,050	3,654	3,734	4,044	4,634	4,600
（売上高比）	(4.6%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.6%)	(3.9%)	(3.7%)

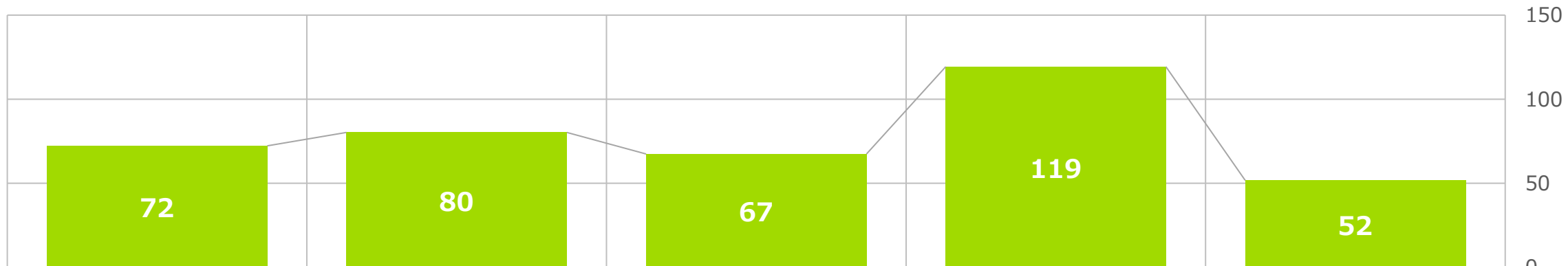
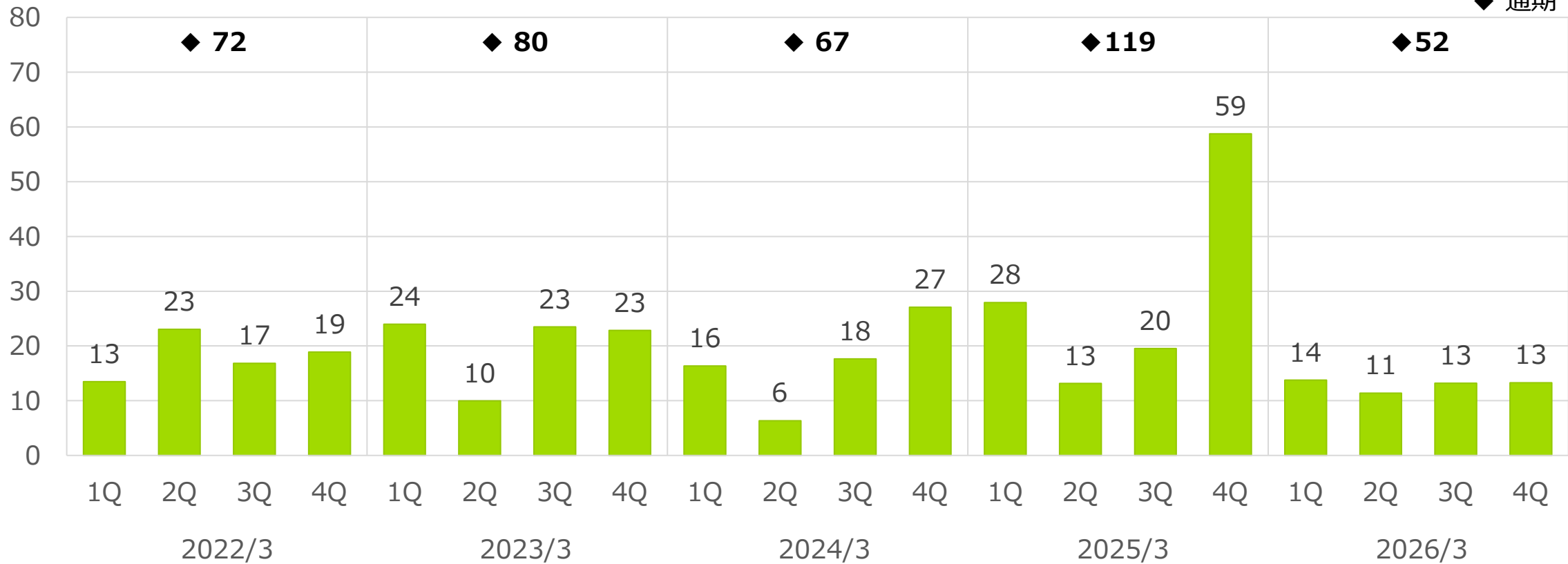
参考資料
(受注高・売上高 詳細)





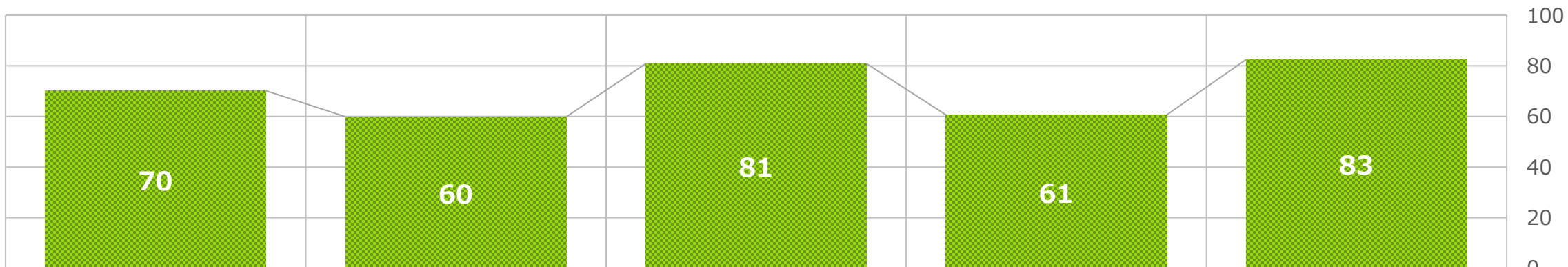
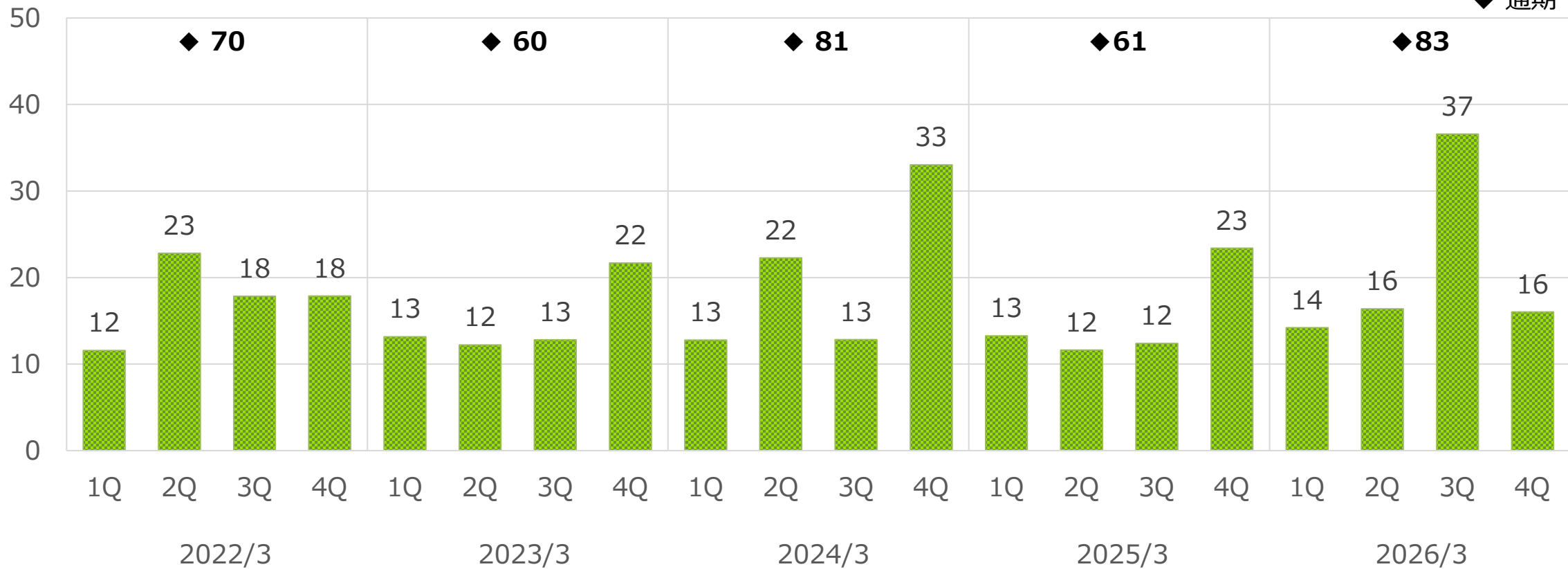
北米 受注高

(million \$)

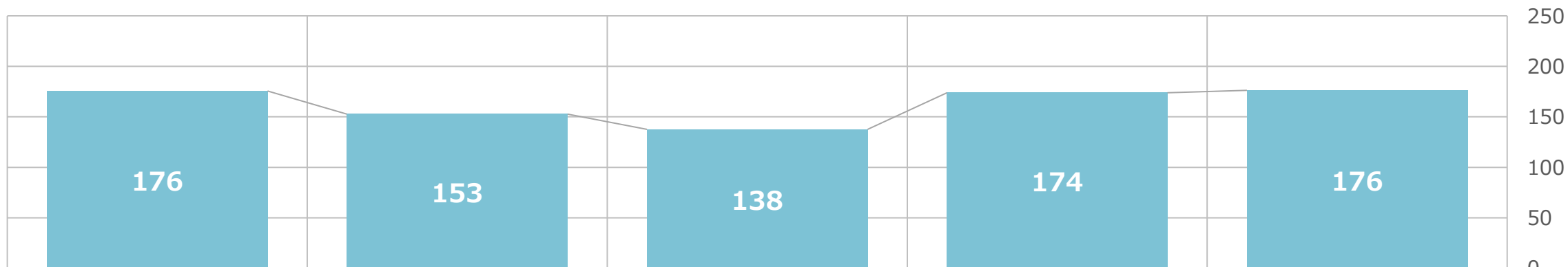
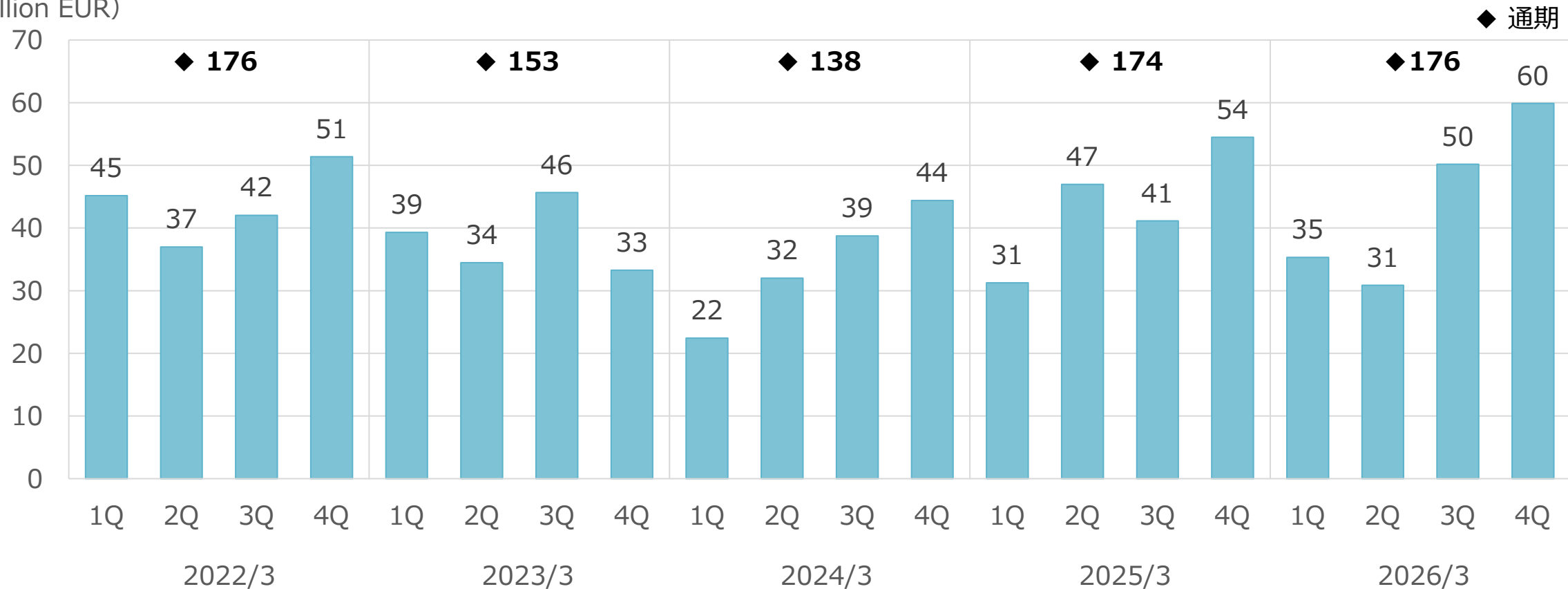


北米 売上高

(million \$)



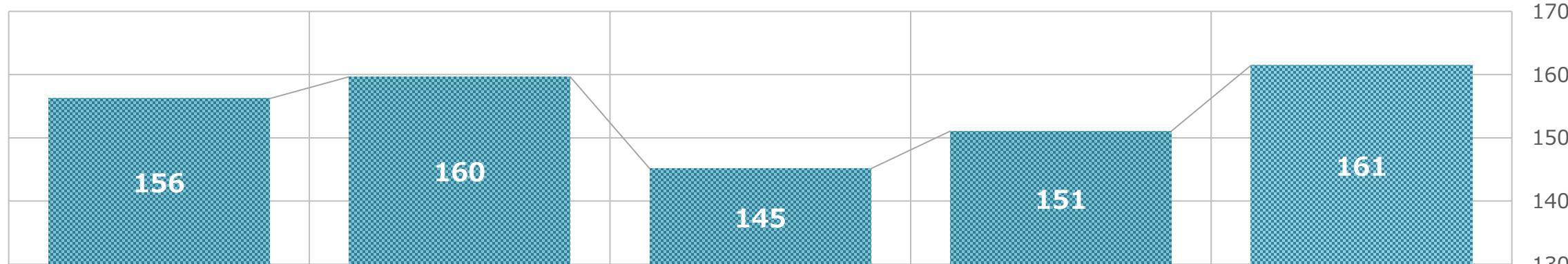
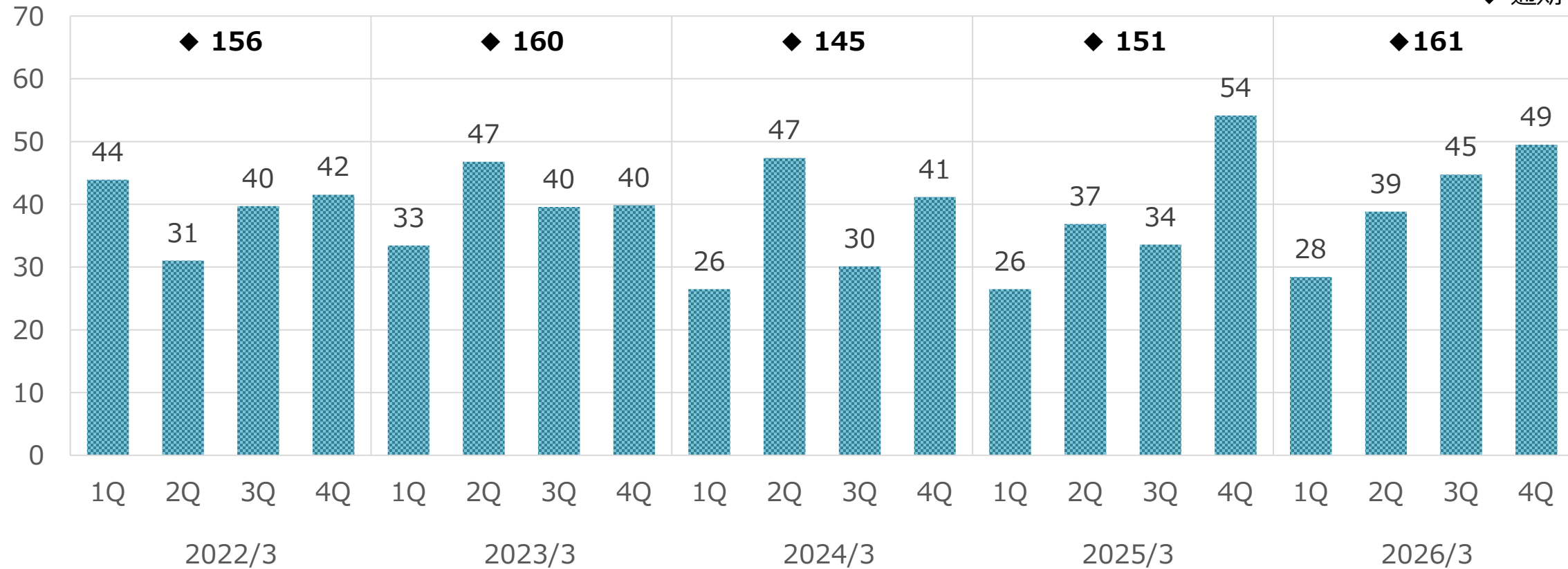
(million EUR)

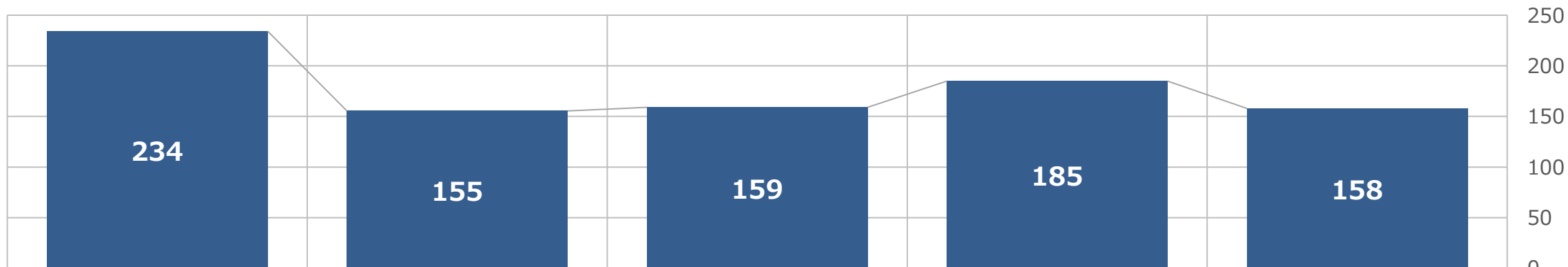
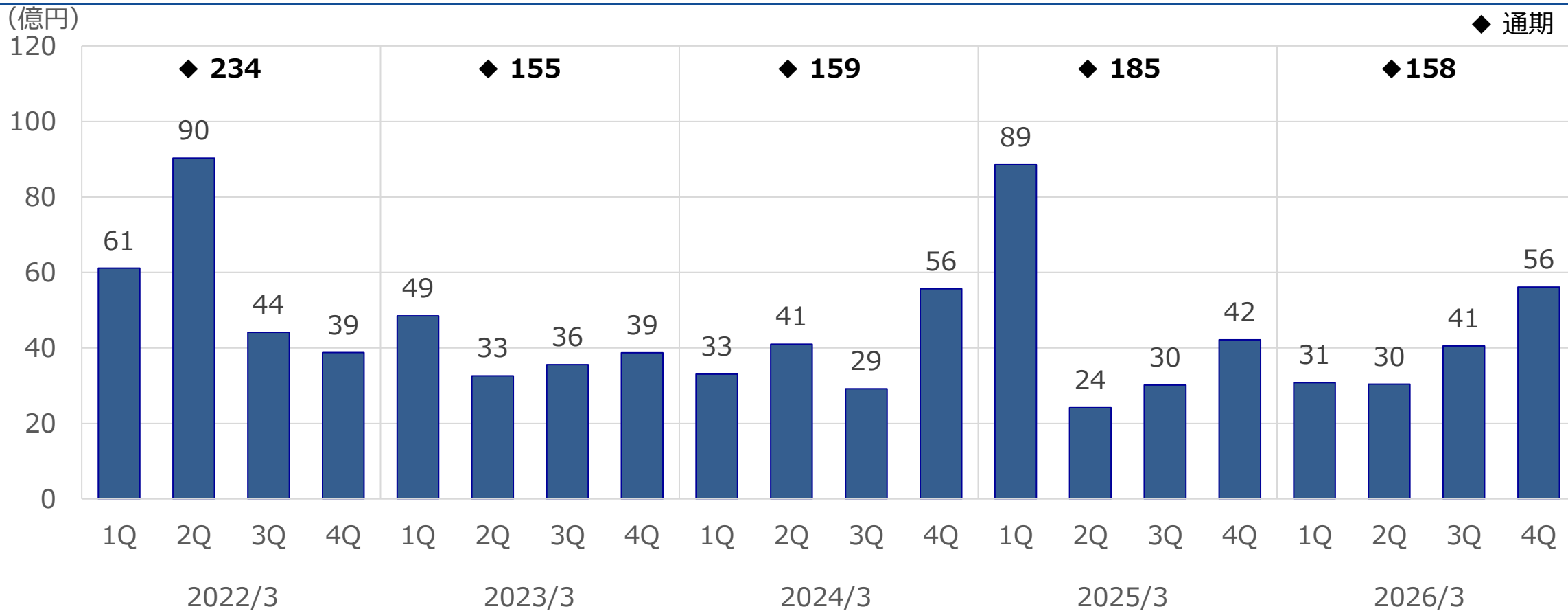


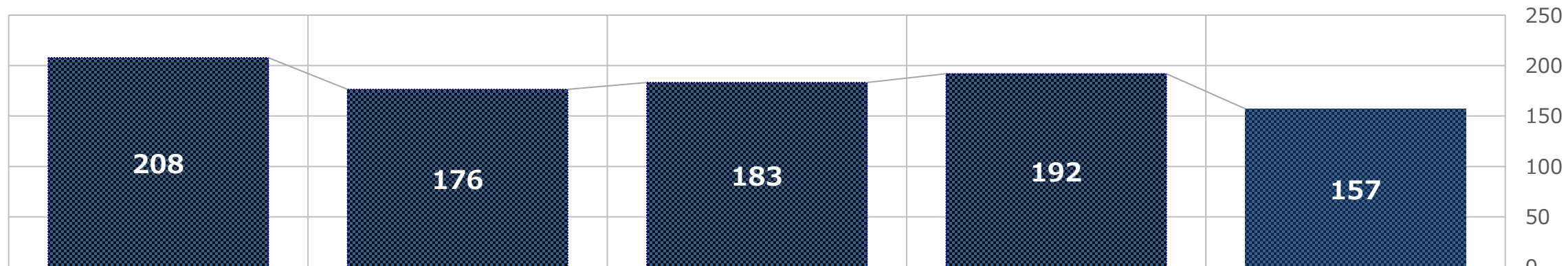
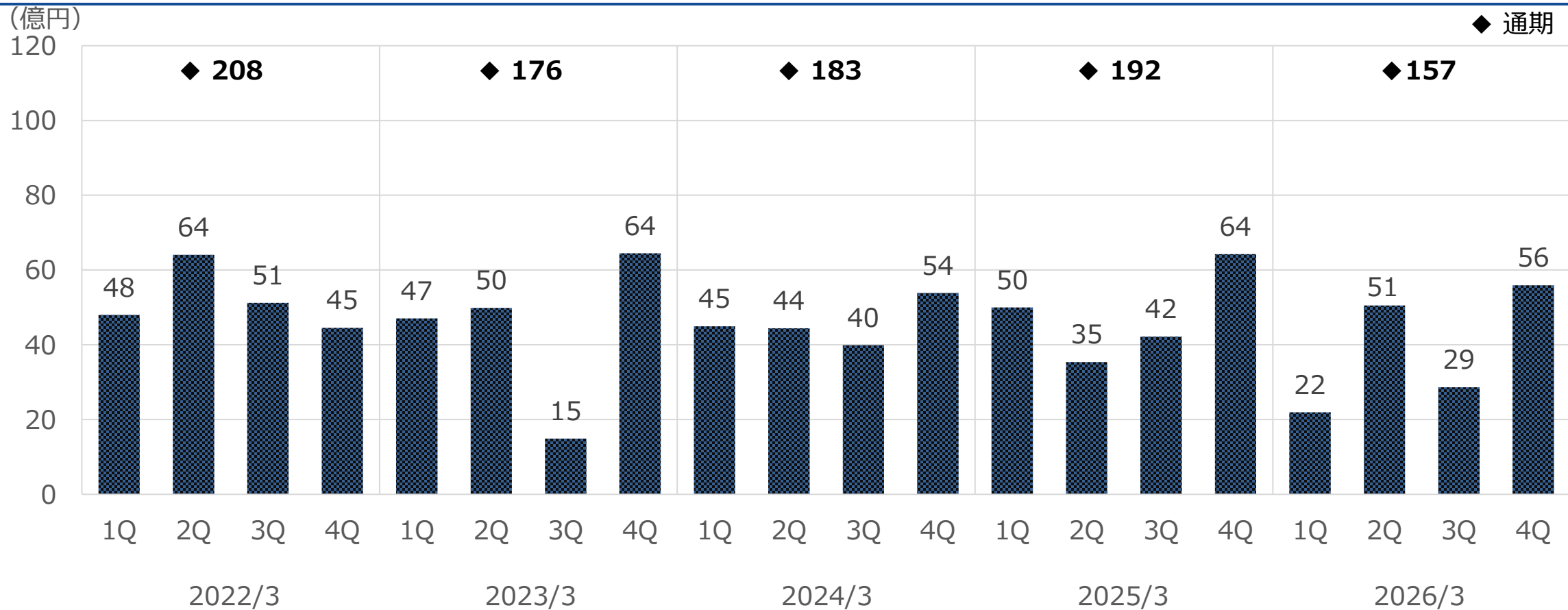
欧州 売上高

(million EUR)

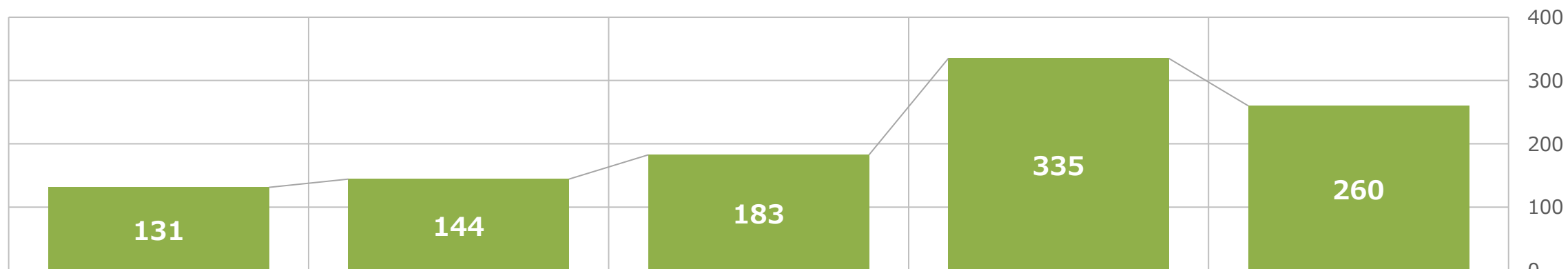
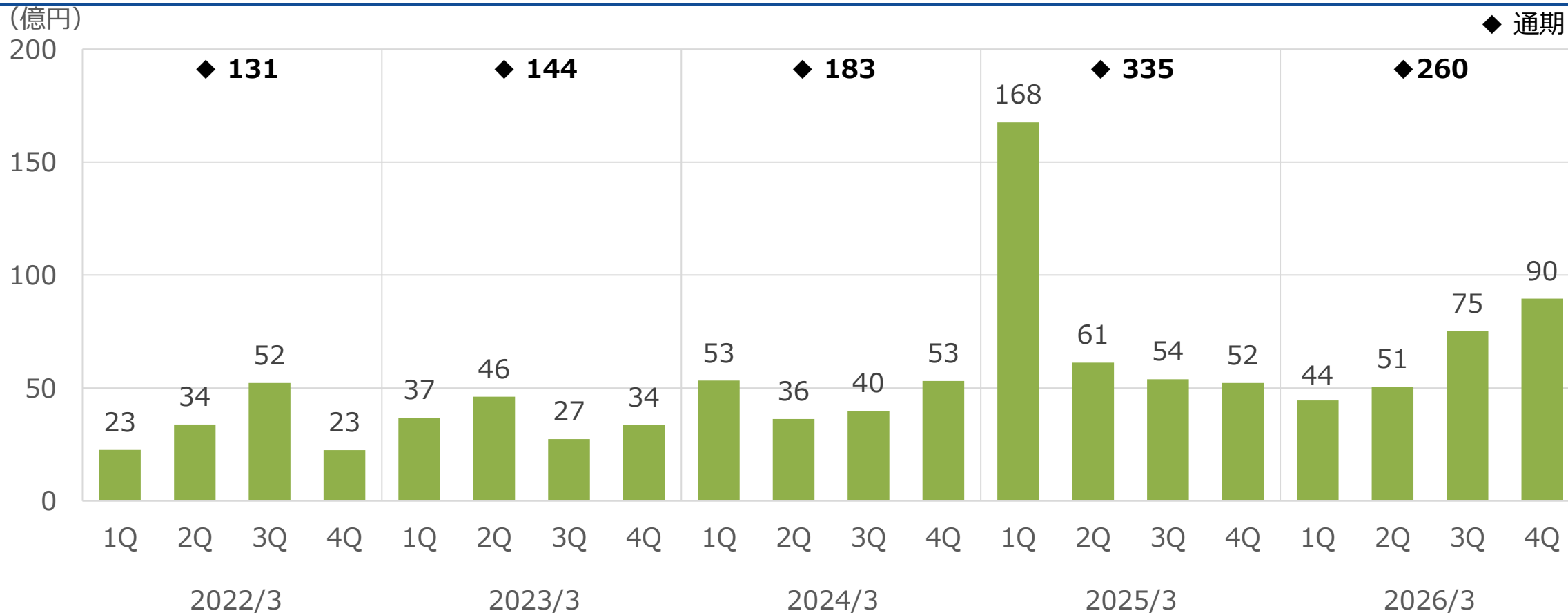
◆ 通期



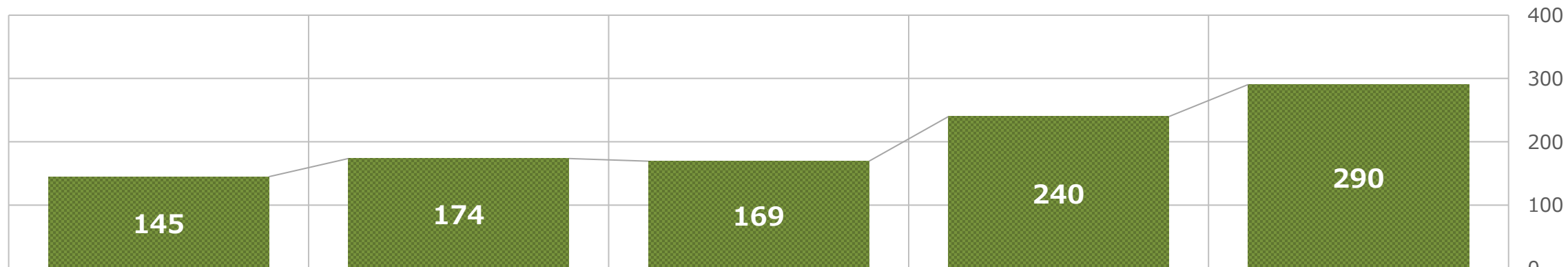
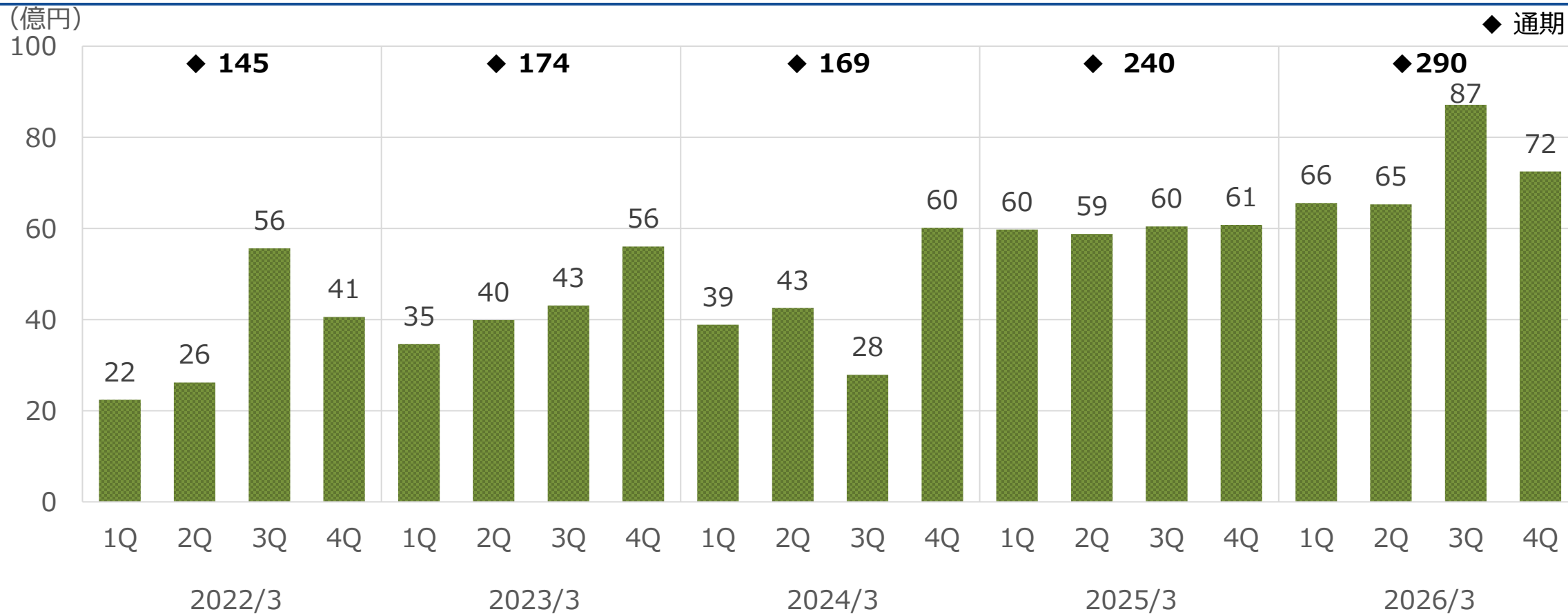




その他地域 受注高



その他地域 売上高



決算説明会

2026年3月期 経営概況

2026年5月18日

代表取締役社長 持田訓

Contents

目次

1. 2026年3月期実績と2027年3月期計画
2. 第7次中期経営計画 進捗
3. 2027年3月期 経営方針

01

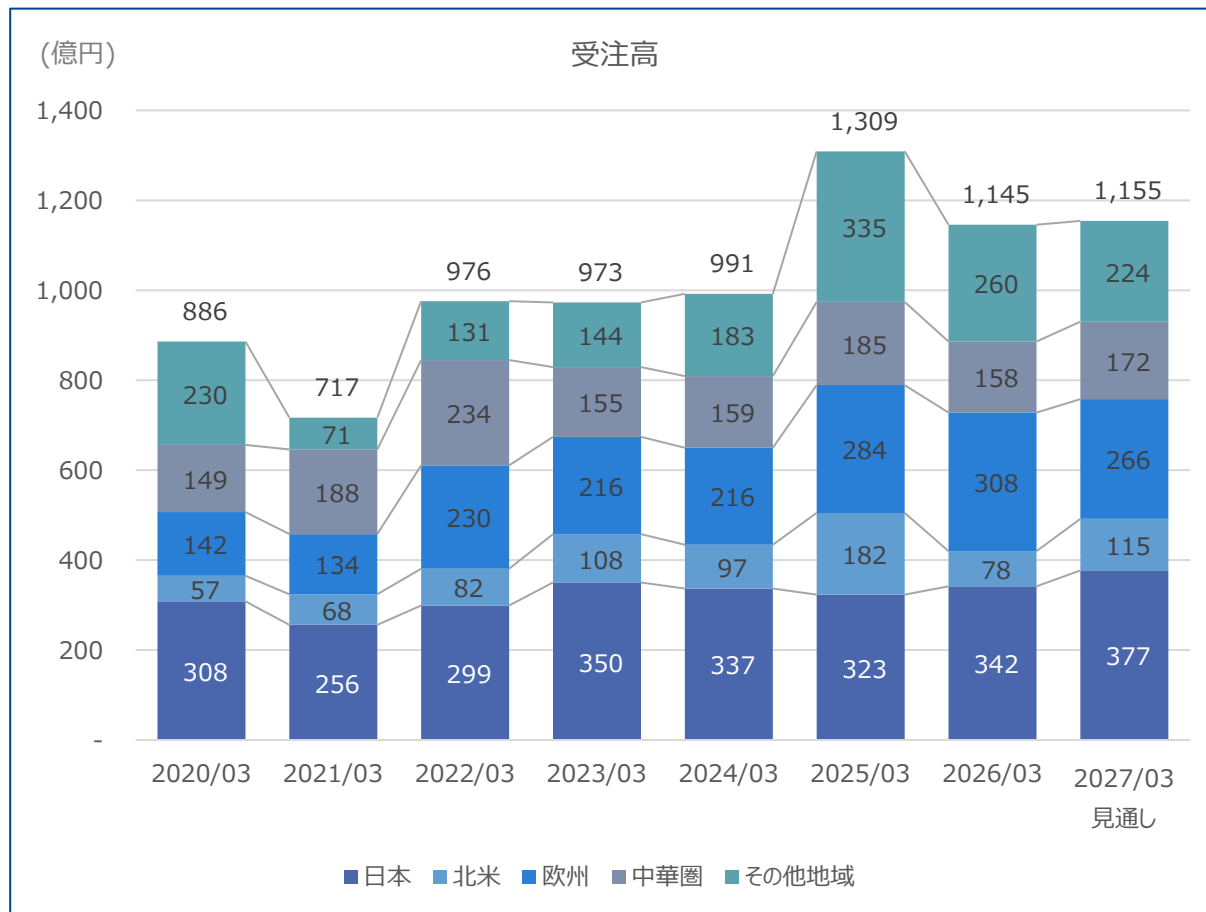
2026年3月期実績と2027年3月期計画

	2026年3月期状況		2027年3月期の見通し	
日本	<ul style="list-style-type: none"> • ペーパーレス化により縮小傾向だが、包装、デジタル印刷は底堅い • 環境規制強化や企業CSR要求により、省エネ設備や環境配慮型生産の整備が進展 • 中小印刷会社の後継者不足は深刻で、事業承継目的のM&A増加 		<ul style="list-style-type: none"> • 印刷市場は縮小傾向が続く一方、包装印刷は堅調に推移 • マーケティング高度化やパーソナライズ化によりデジタル印刷が伸長 • 脱炭素対応や生産性向上を背景に設備投資が進むとともに、統合・事業承継型M&Aが進展 	
中華圏	<ul style="list-style-type: none"> • AIの発展、中米貿易摩擦の継続などで製造業が困難に直面している • 内需の低下により、投資への慎重な姿勢が高まっている 		<ul style="list-style-type: none"> • パッケージ、カード印刷への転換が堅調となる • 小ロット印刷の増加と雇用困難によるデジタル導入需要が強まる。市場は、若干の良化傾向にある。 	
北米	<ul style="list-style-type: none"> • トランプ政権の政策不透明感と関税リスクで、投資は慎重化 • 経済先行不透明により投資心理は全体的に低調 		<ul style="list-style-type: none"> • 度重なる関税措置の変更で印刷会社は投資時期を慎重に判断するも、デジタル機への需要要求は高い 	
欧州	<ul style="list-style-type: none"> • 地政学リスクや景気減速懸念が引き続き重石となり、新規設備投資には慎重姿勢が広がる見通し 		<ul style="list-style-type: none"> • 地政学リスクや景気減速懸念が引き続き重石となり、新規設備投資には慎重姿勢が広がる見通し • 省人化、デジタル化、環境配慮型印刷への根強い要求あり 	
その他	<p>【インド】</p> <ul style="list-style-type: none"> • GST改革による内需増加よりパッケージ継続堅調、商業・出版においても成長緩やかであるが堅調 <p>【ASEAN】</p> <ul style="list-style-type: none"> • トランプ関税影響を受け上期は投資低調、下期にて回復し、マレーシア、ベトナム、インドネシアが特に好調 <p>【韓国・オセアニア・中南米】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 過去の金融引き締めの影響及び世界景気動向の不透明性により投資控えが目立つ 	 	<p>【インド】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中東情勢悪化によりインド西部印刷会社における事業に影響あり先行き不安高まるが、内需向け印刷は引続き堅調予測 <p>【ASEAN】</p> <ul style="list-style-type: none"> • China+1の流れでパッケージ需要は一定あるが、関税政策の不確実性と地政学リスクが投資判断を慎重となる見通し <p>【韓国・オセアニア・中南米】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 金融緩和による投資マインドの改善が期待されるが、中南米はトランプ政権の政策リスク・政情不安が重石。全体として市場回復は緩やかにとどまる見通し 	

2026年3月期は受注が減少するも、2027年3月期は売上が受注残を背景に伸長する見通し

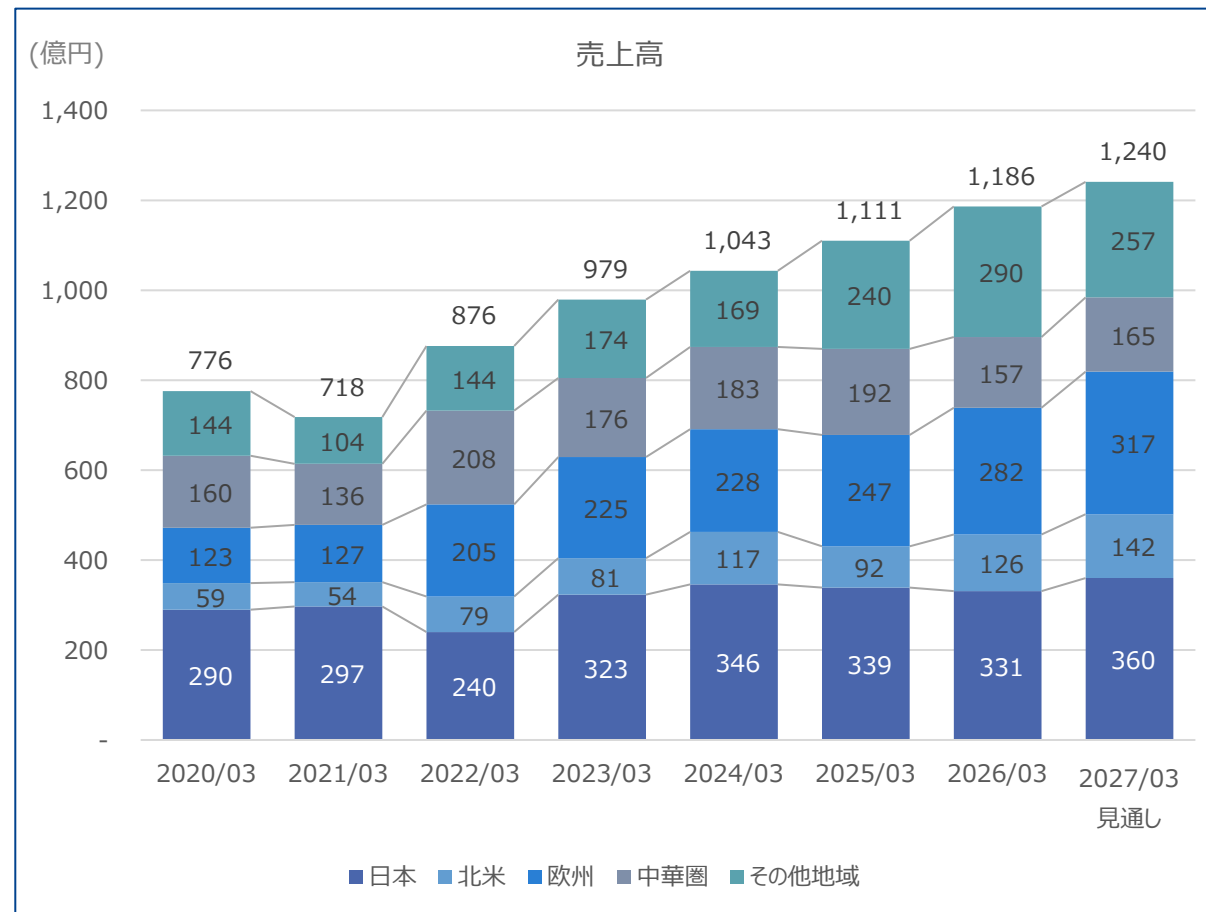
受注高

2026年3月期実績：1,145億円（2025年3月期比：88%）
 2027年3月期計画：1,155億円（2026年3月期比：101%）



売上高

2026年3月期実績：1,186億円（2025年3月期比：107%）
 2027年3月期計画：1,240億円（2026年3月期比：105%）



02

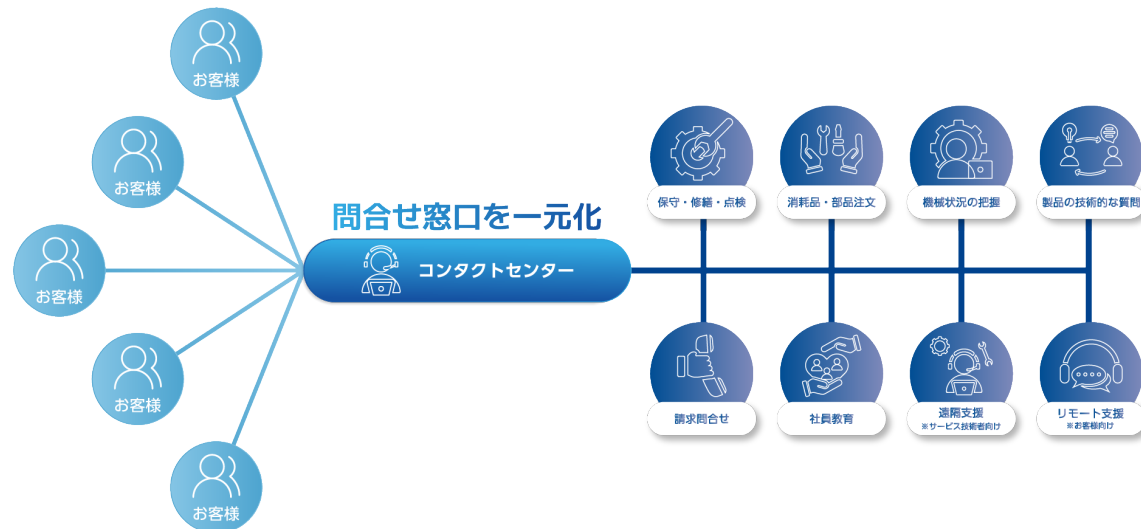
第7次中期経営計画 進捗

2026年3月期で営業利益率・ROEともに中期目標を達成 最終年度も引き続き取り組みを継続する

	2026年3月期実績	2027年3月期目標 (第7次中期目標)
営業利益率	7.9%	7.0%以上
ROE	6.2%	6.0%以上

◆ 顧客対応力強化とソリューション高度化に向けた経営基盤の強化

- ドイツに現地法人『Komori Germany GmbH』を設立し、KOMORIおよびMBO製品の販売・サービスを一体化、欧州市場における顧客対応力とサポート品質を強化
- 国内『コンタクトセンター』新設により顧客窓口（修繕・問い合わせ）を一元管理、海外は『グローバルヘルプデスク』運用開始により現地技術者への支援窓口を集約し、サポート品質とサービス基盤を強化
- KP-Connectを中核としたKGCスマートファクトリー実証を通じ、製品／資材の最適化・自動化ソリューションに関する提案に必要な情報・根拠を蓄積し、価値提供に向けた基盤を整備



◆ オフセット・デジタルを軸に高付加価値印刷ソリューションを展開

- 輪転機の高生産性と枚葉機レベルの高い品質を両立するLED UV搭載のSYSTEM G38により、環境負荷低減と高付加価値印刷を実現
- 米国において“LITHRONE GL40 advance” シリーズを複数台納入し、トレーディングカード等の高付加価値印刷分野へ事業領域を拡大
- フランスのImprimerie Edgar社に欧州第1号機となる次世代デジタル印刷機“J-throne29”を納入。重点地域である日本、米国、欧州、中国で受注し、販売を拡大

輪転機の生産性と枚葉機の品質を両立する印刷機



SYSTEM G38
(A横全判両面オフセット印刷機)



Imprimerie Edgar社へのJ-throne29納入



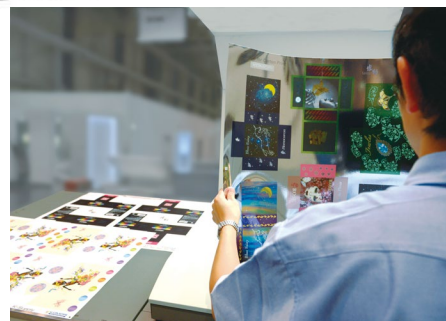
◆ 製品拡充とトータルパッケージソリューション提供体制の確立

- 多くの顧客への導入実績を有する“LITHRONE GL44”に加え、高付加価値印刷機“LITHRONE GX29 advance”を新たに市場投入し、パッケージ印刷のラインアップを拡充、対応領域を拡大
- 米国への大型フレキソ印刷システムの納入を開始し、KCM・KPS・KCB※の連携によるWebパッケージ分野のトータルソリューション体制を確立、拡販基盤の整備を完了

パッケージ印刷対応オフセット印刷システム



LITHRONE GX29 advance
(菊半裁寸延オフセット枚葉印刷機)



※小森コーポレーショングループ企業
KCM: Komori Chambon S.A.S.
KPS: Komori Primoflex Systems
KCB: Komori Chambon Bernal

KCMのフレキソWebパッケージ印刷システム



◆ 新市場開拓によるグローバルシェア拡大の加速

- 中南米初となるメキシコやポルトガルでの銀行券印刷機械の初受注、マレーシアでのパスポートのデータページ用オフセット印刷機受注など、世界各国から受注を獲得。銀行券印刷機に加え、ハイセキュリティ印刷領域への展開を進め、グローバルシェアを大幅に向上
- ベトナムで大型案件の検収を完了し、サービス提供を開始するとともに、英国・フィリピンなどで大型計画工事を受注し、グローバルでのPESP事業展開を拡大



Currency IC
(四六半裁凹版印刷機)

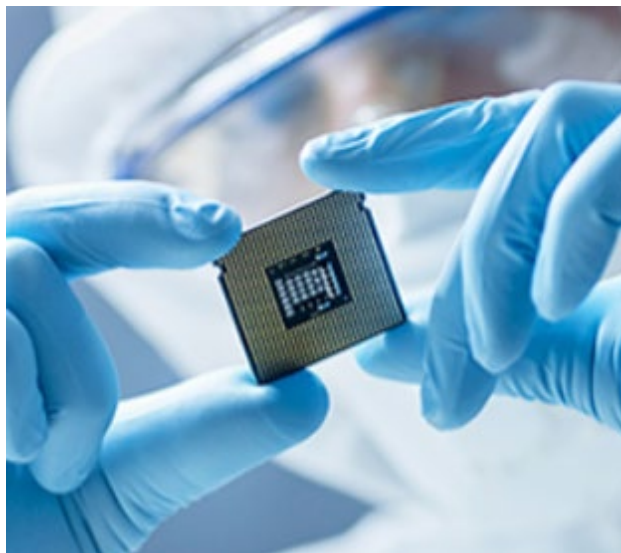
ベトナムユーザー様の開所式



◆ 高精度・信頼性を両立した次世代真空印刷機 “SVM-3131IP” の開発

- 高周波化／高密度化が進む電子部品や半導体部品市場のニーズに対応し、競合他社を凌ぐ高印圧による高性能印刷と小型化を両立させた真空印刷機を開発し日本電子部品メーカーに納入
- スクリーン不要のダイレクト穴埋め印刷を含む2方式を標準搭載し、幅広い基材・用途への展開が可能

高精度・信頼性を両立した次世代真空印刷機 SVM-3131IP



2種の印刷方式を標準装備

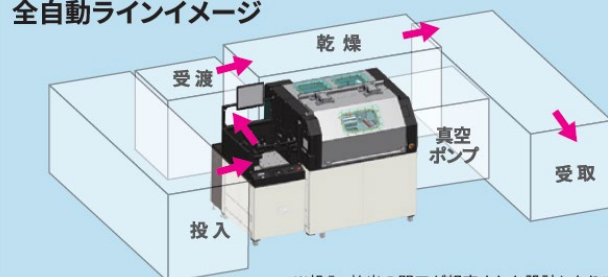
スクリーン版やメタル版を使用した穴埋め印刷



New

スクリーン版を使用しないダイレクト穴埋め印刷

全自動ラインイメージ



※投入・払出の間口が想定された設計となります



SVM-3131IP

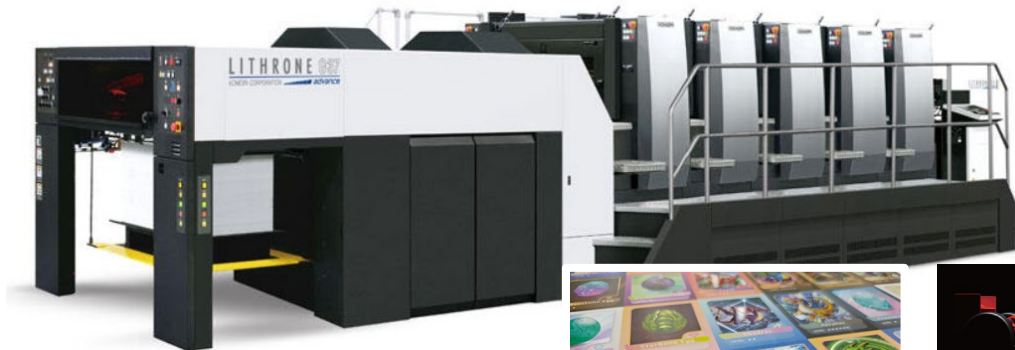
03

2027年3月期 経営方針

◆ グローバル市場を見据えた製品投入と重点市場の強化

- 高生産性・省エネルギーを実現する“LITHRONE G37 advance”をラインアップに追加するとともに、LITHRONE/アドバンスシリーズの拡販を推進し、重点市場における多様な印刷ニーズへの対応力を強化
- 日本、中国、欧州、米国を“J-throne29”の重点販売地域と位置づけ、各拠点のデモセンターを活用してデジタル印刷成長市場での戦略的な販売拡大を推進

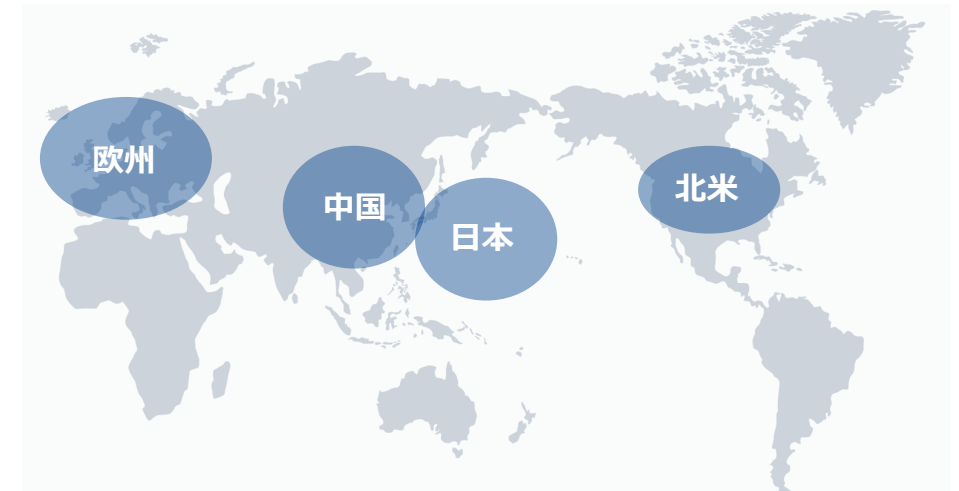
生産性と省エネを実現するLITHRONE/アドバンスシリーズ



LITHRONE G37 advance
(A全判オフセット枚葉印刷機)



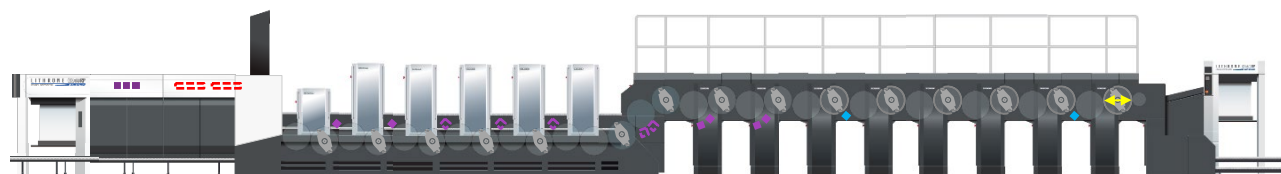
J-throne29 重点販売地域



◆ 多彩な商品とトータルパッケージソリューションによる拡販フェーズへの移行

- オフセット印刷機の豊富な機種ラインアップを基盤に、両面印刷やコーターなどの顧客仕様に応じた柔軟な構成で多様なパッケージニーズへの対応力を強化し、競争力と収益性の向上を図る
- KCMの紙器パッケージ技術、KPSのフレキソ印刷技術、KCBのロータリーダイツール供給体制を組み合わせたトータルソリューションを活用し、米国大手ユーザーを起点に、成長市場であるパッケージ分野での販売強化

多様なパッケージニーズへの対応したLITHRONEシリーズ



LITHRONE GX40RP advance
(菊全判両面オフセット枚葉印刷機、両面コーター装置付)

2nd Coater 9C DU DU 1st Coater 8C 7C 6C 5C 4C 3C 2C 1C



LITHRONE G40 advance
(菊全判オフセット枚葉印刷機、ダブルコーター装置付)

フレキソ印刷含むパッケージトータルソリューション



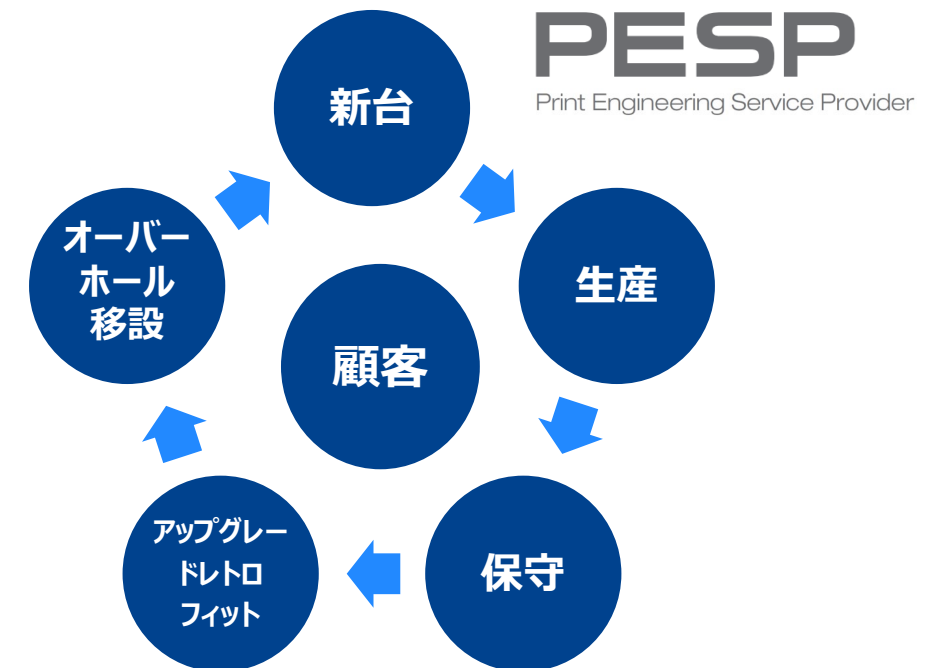
KCB ロータリーダイ

KPSのフレキソ印刷

◆ 基盤事業深化とPESP事業の強化

- 銀行券印刷機に加え、パスポート等のハイセキュリティ印刷分野への展開を強化し、証券印刷事業の成長を加速
- 品質と価格競争力を両立し、入札競争に勝利することで、グローバルシェアをさらに拡大
- 世界40カ国への納入実績、および主要通貨（円・ドル・ユーロ・ポンド等）の銀行券印刷機納入実績を基盤に、グローバルサービスネットワークを構築しPESP事業の拡大を加速

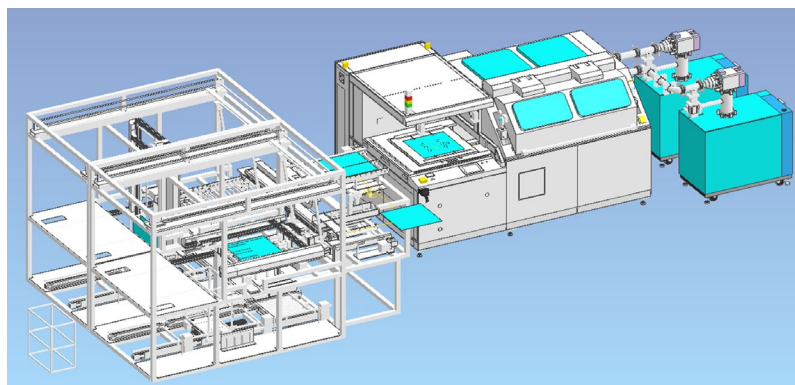
パスポート等のハイセキュリティ印刷に対応したCURRENCYシリーズ



◆実績のある技術資産を活用した事業領域の拡大

- PKG基板で培った真空技術の新領域への展開と、FA技術を基盤とする一貫ソリューションの提案により、半導体・電子部品・TGV分野での販売を強化
- 微細電子部品分野向け量産設備の立ち上げと拡販を加速
- 薄膜塗工×印刷×短距離乾燥の技術を融合し、高効率・低環境負荷な技術開発に向けた協業を推進

高精度・信頼性を実現する印刷機 + FAソリューション



●真空印刷機 + FAソリューション

薄膜塗工×印刷×短距離乾燥テストライン



●PEDEC内に設置されたテストライン



●LIB向けPPセパレータ塗工例
（※ダミーインク使用）

◆ 環境対応の推進によるCO₂削減と企業価値の向上

- 2050年カーボンニュートラルに向け環境配慮型製品を開発し、2030年度目標達成を目指して、今後もCO₂排出量削減を推進
- 国内外拠点への省エネルギー設備導入により、CO₂排出削減を目標以上のペースで進めるとともに、高い投資対効果（ROI）を実現

エコプロダクツ（環境配慮型製品）の開発



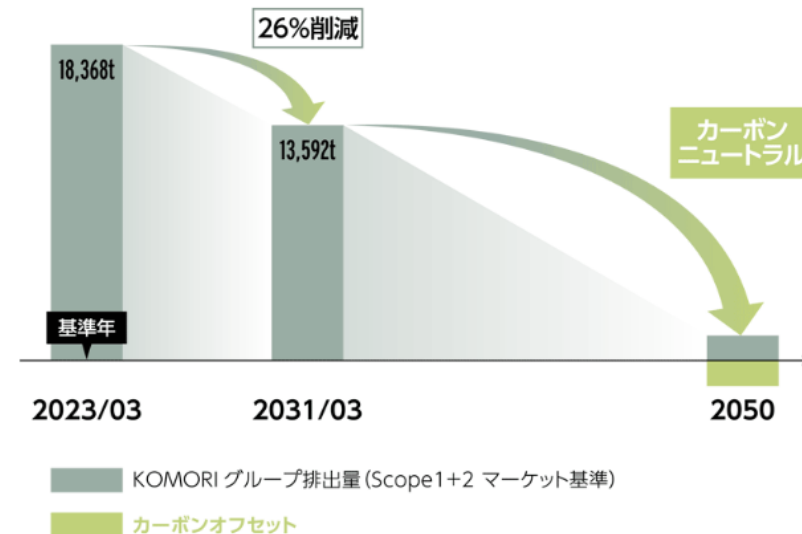
※スマートインキングフローとDCブローアを併用した時の効果

エコファクトリー（環境に優しい生産・設備）



KOMORIグループの温室効果ガス削減目標

省エネ化・再エネ化 エネルギーマネジメント



KOMORI

※当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。